

金閣寺土地區劃整理組合誌

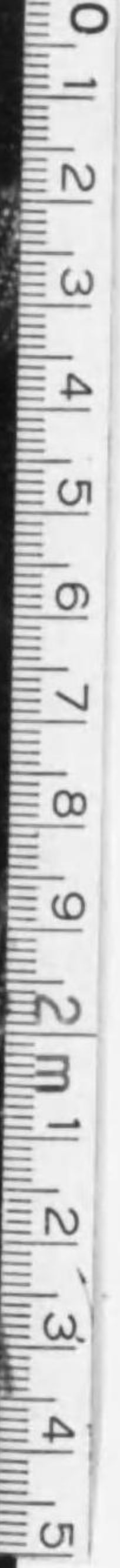


特261

356

117

6P3



始



特261
693



金閣寺土地區劃整理組合誌



金閣寺土地區劃整理組合誌目次

第一、組合設立	一
一、認可申請	一
二、設立認可	一
三、組合員	一
第二、規約	三
第三、組合ノ機關	九
一、意思機關	九
イ、總會	九
ロ、組合會	一〇
ハ、評議員會	一一
二、業務執行機關	一一
イ、組合長	一一
ロ、組合副長	一一
ハ、評議員	一二
第四、計畫ノ概要	一三
一、施行地區並ニ整理前ノ現況	一三
二、工事ノ計畫	一四
三、計畫ノ變更	一四



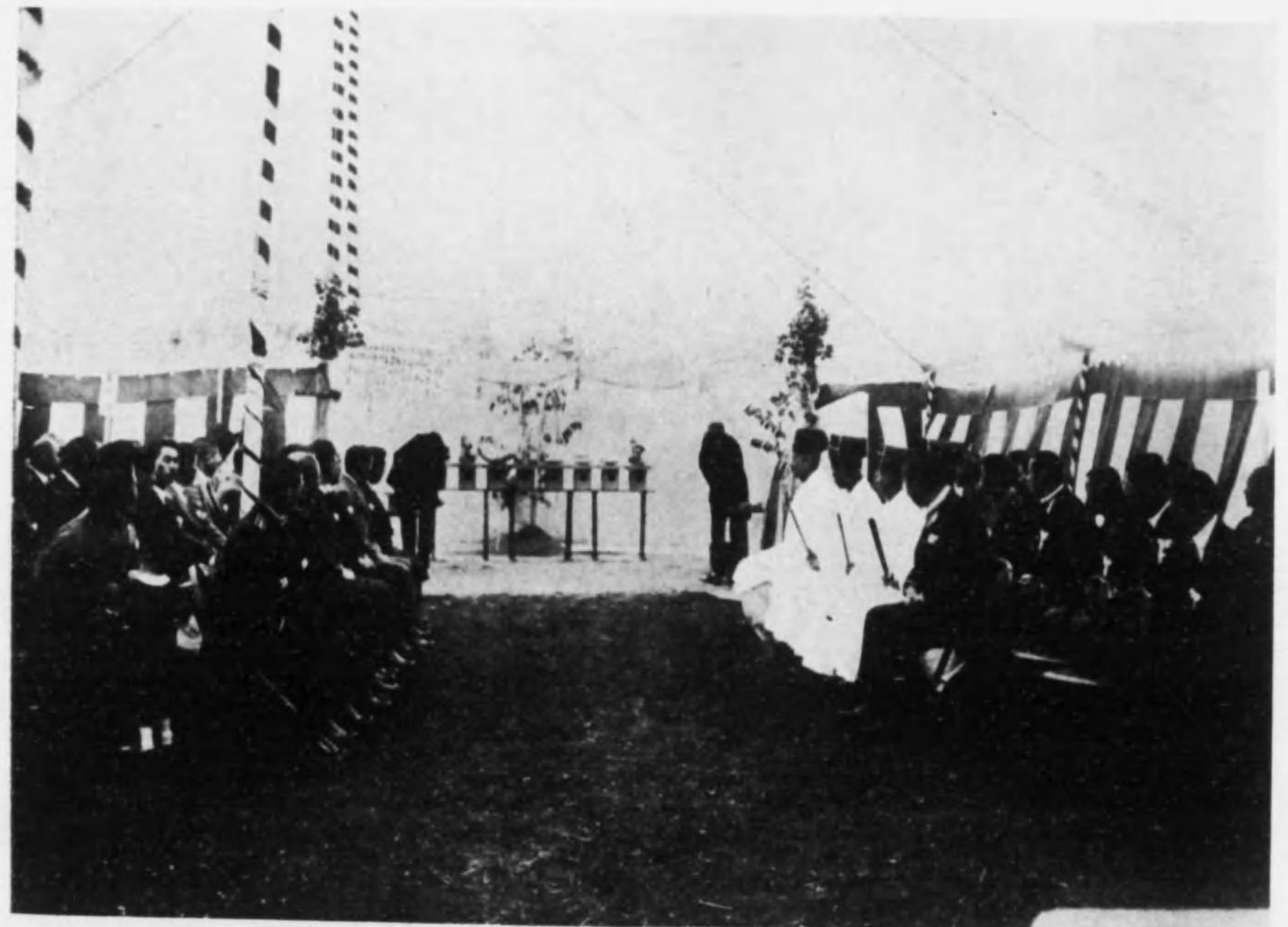
景 全 / 後 理 整

第五、施行準備	一五
一、整理前土地各筆ノ地位評定	一五
二、使用區域ノ指定	一五
第六、施 工	一五
一、工事請負入札並ニ契約	一五
二、工事着手	一六
三、工事竣工	一六
第七、整理施行地ニ對スル設備	一六
一、上水道ノ敷設	一六
二、兒童遊園地ノ造成	一七
第八、會 計	一七
一、豫算及決算	一七
二、借 入 金	一七
三、市 補 給 金	一八
四、組 合 費	一八
五、殘地賣却金	一九
第九、竣工後ノ概要	一九

會賀祝式工起



場會式工起



祭鎮地工起



景前理整上同

近附橋笠衣後理整



景前理整上同



近附本千路大北ノ後理整



近附橋寺園金上同



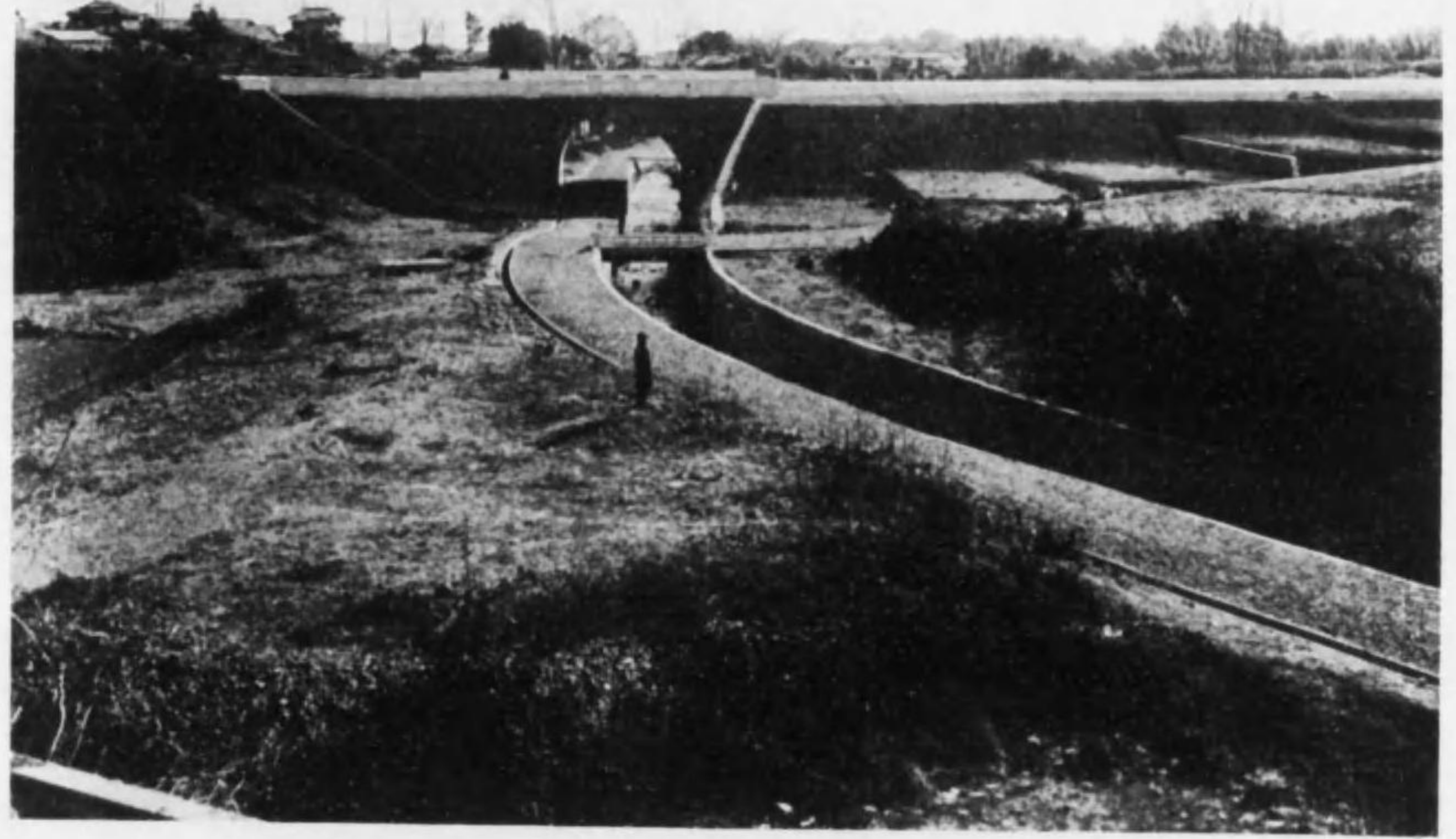
川屋紙ルケ於ニ前理整



(△望ヲ橋寺園金リヨ橋笠衣) 川屋紙ノ後理整



景 前 理 整 所 同 右



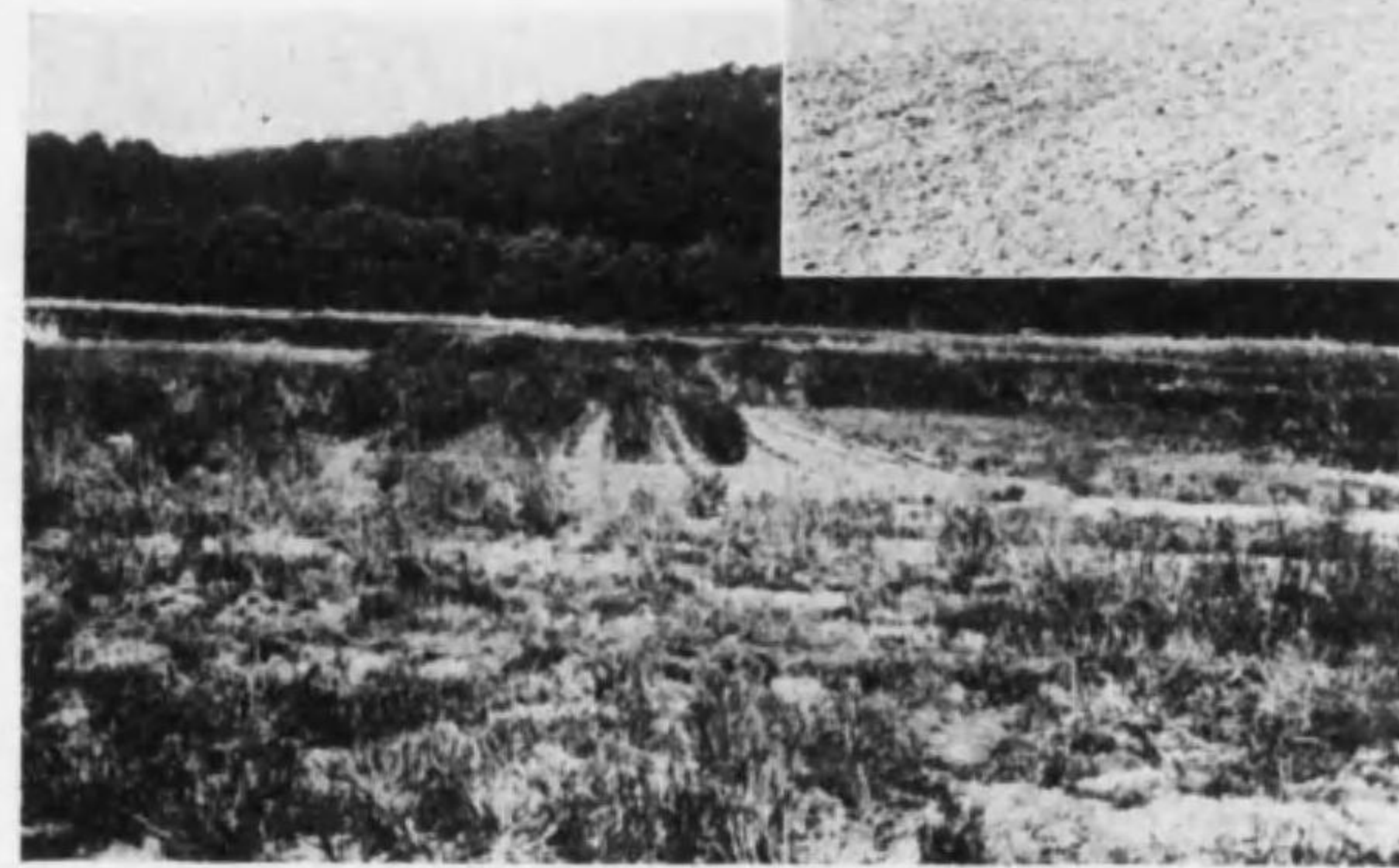
(△架ノ橋笠衣リヨ橋ノ開) 川 屋 紙 ノ 後 理 整

(二) 部一ノ町殿笠衣ノ後理整



(二) 景前理整所同

(一) 景前理整上同



(一) 部一ノ町殿笠衣ノ後理整

同 上 整理前 景



工 事 中 ノ 開 橋 附 近



整 理 後 於 此 處 架 設 開 橋 附 近

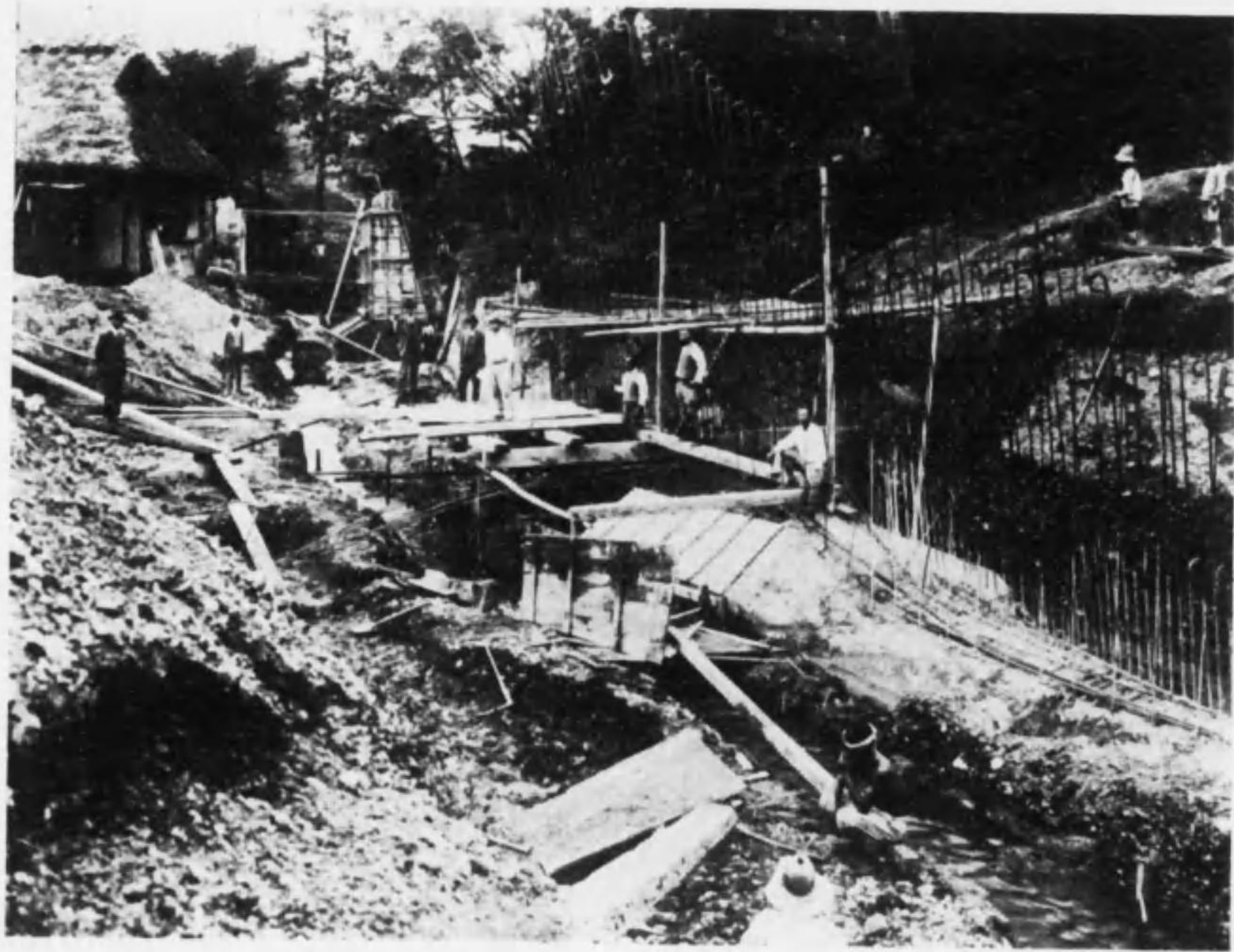


流上橋キ開川屋紙ルケ於ニ後理整

景前理整上同



近附町キ開笠衣ノ後理整

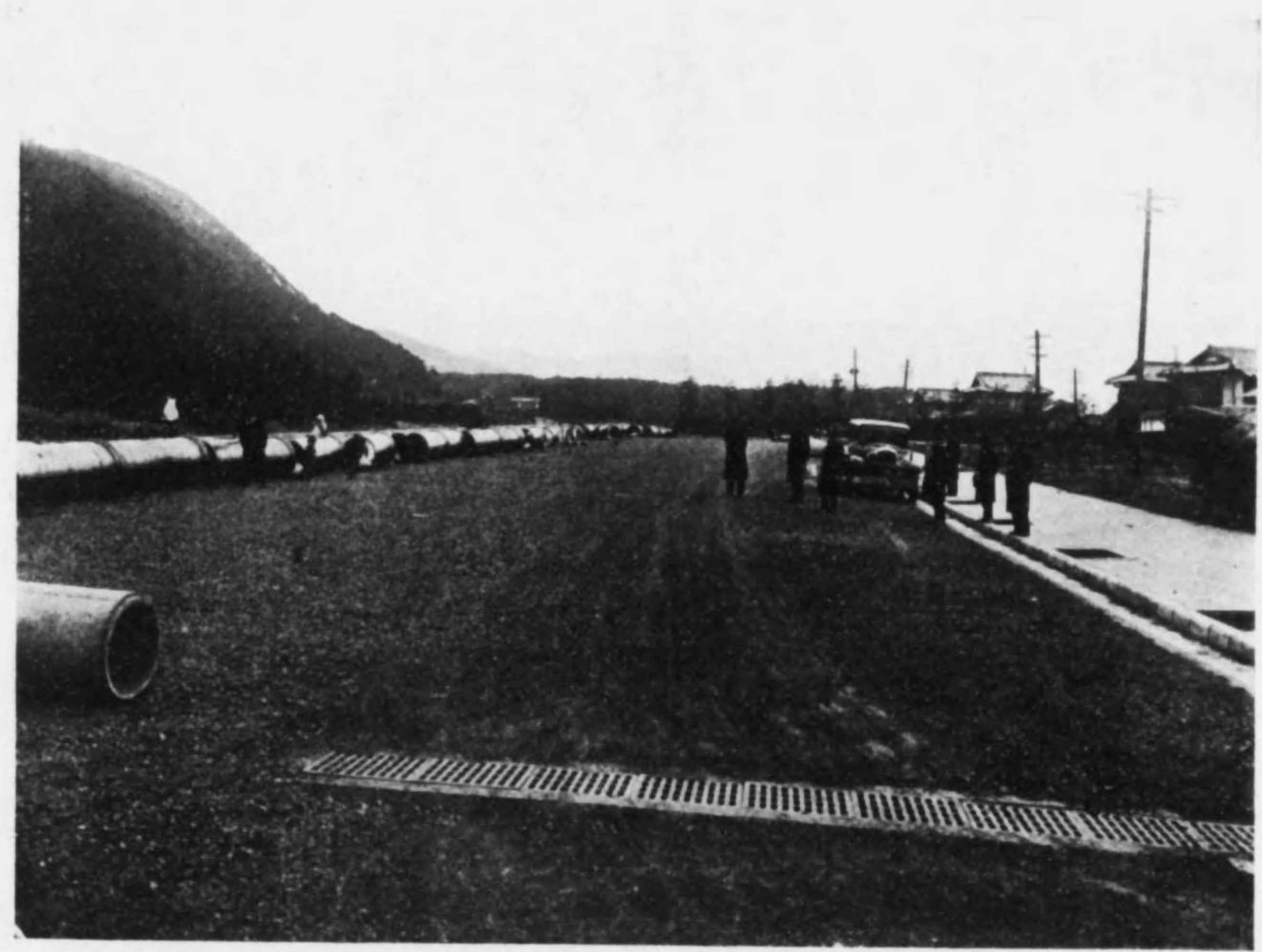


橋キ開ノ中事工

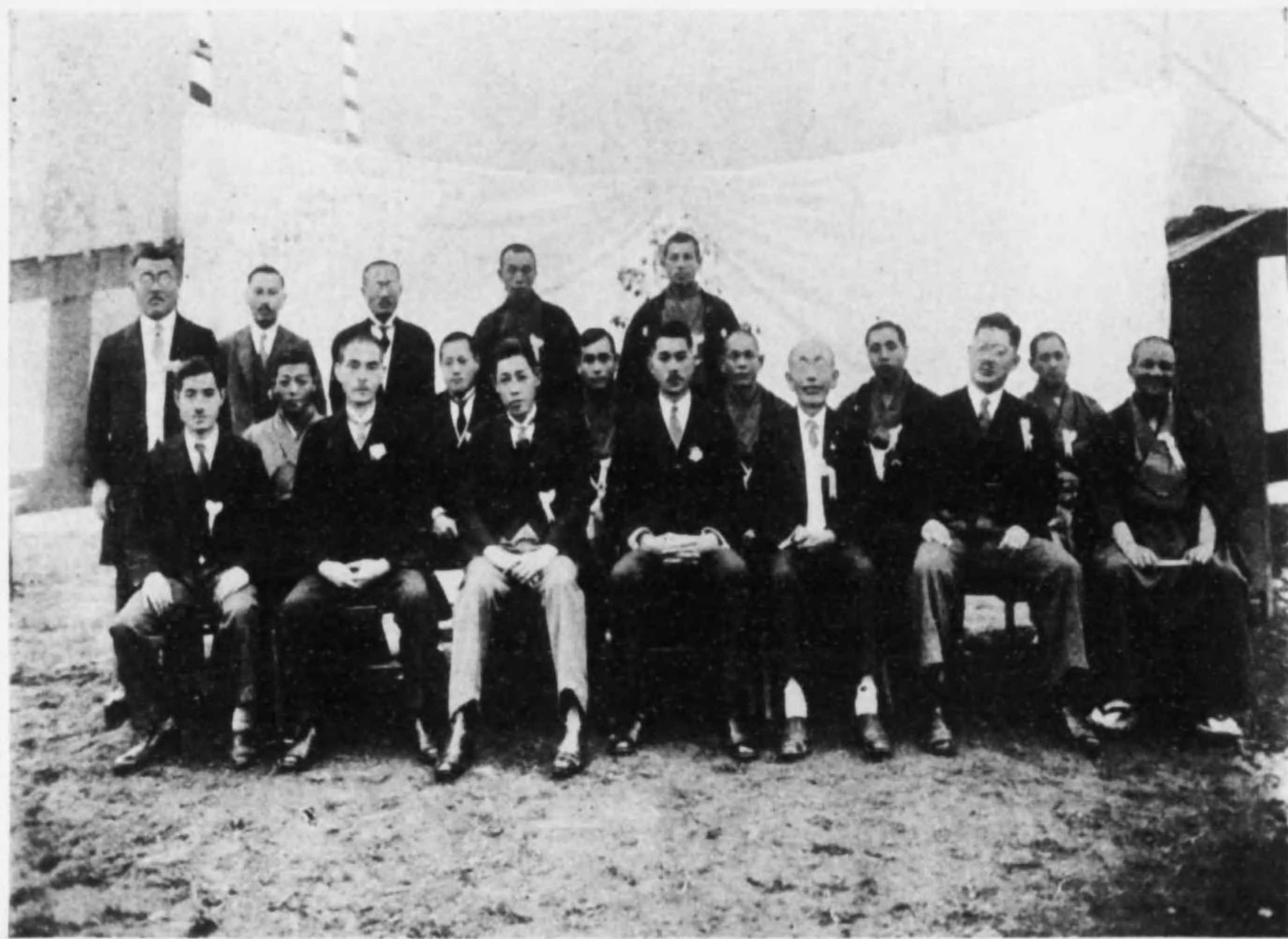


(▲家ヲ橋笠衣) 近附橋キ開ルケ於ニ後理整

西村岩次郎
 片山榮太郎
 大八木治一
 山岡卯一郎
 瀧吉之助
 若林初太郎
 北本祐一郎
 長尾正之
 井田繁太郎
 岡田善一
 伊藤庄兵衛
 内田雄六
 山脇初二
 吉澤覺次郎
 岡本義一郎
 稻垣甚藏
 小林正二
 久松炳



△堂ヲ面方町殿笠衣リヨ前寺開金後理整



者係關及員役合組ルケ於ニ時當式工起

- | | | | | | | |
|--------|-------|-------|--------|-----------|-----------|-------|
| 西村 敬太郎 | 山岡 敬一 | 北本 海一 | 菅 隆太郎 | 岡田 善一 | 山崎 啓二 | 小林 五二 |
| 大八木 信一 | 藤 吉之助 | 長 景五之 | 共田 繁太郎 | 内田 肇六 | 岡本 義一 | 八 海 岸 |
| | | | | 垣 藤 丑 兵 衛 | 吉 野 豊 夫 郎 | |
| | | | | | | |



者係關及員役在現

山田敬太郎

山本登吉

大八木市一

岡田善一

安藤貞華

大澤 輝

岡本錦一

山本善二

岸井茂雄

井本清一

富岡孝之助

藤 吉之助

共田翠太郎

荻林啓太郎

増藤貞典

山岡一

内田 六

吉野登夫

鈴木 新

野 繁

新西昌隆

森本知雄

澤田 武藏

折田壽太郎

丸山榮太郎

池田松太郎

片山榮太郎

稻垣甚蔵

森本辰雄

河西昌温

鈴木清

護環

吉澤覺次郎

山岡卯一郎

内田雄六

伊藤庄兵衛

井田繁太郎

若林初太郎

懸吉之助

北本祐一郎

富岡專之助

岩井芳通

岡本義一郎

山本謙二

西村岩次郎

岡田善一

安藤貞雄

久松炳

山本繁吉

大八木治一

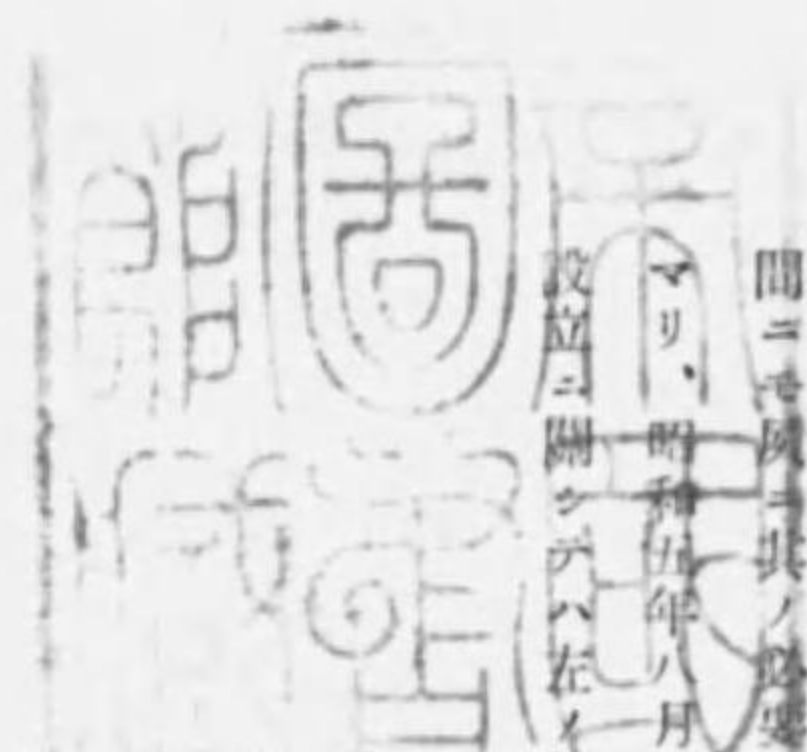
山田岸太郎

金閣寺土地區劃整理組合誌

第一、組合設立

一、認可申請

近年本市ノ郊外地ハ急激ナル勢ヲ以テ市街化シ、本地區方面亦此ノ趨勢ニア
ルヲ以テ、京都市ハ當方面ヲ包含スル舊市ノ周邊部約四百二十五萬坪ノ地域ヲ
以テ都市計畫土地區劃整理區域トシテ内閣ノ認可ヲ受ケ區劃整理ノ實施案ヲ樹
テ本地區ニ對シ極力組合ノ設立ヲ勸誘スル所アリタルト、地區内土地所有者ノ
間ニ地價ノ暴落ヲ認メ整理施行ノ機運熟シ居リタルニ依リ組合設立ノ議議
アリ、昭和六年八月二十六日京都市知事ニ之ヲ設立認可申請ヲナセリ。本組合
設立ニ關シハ在リ諸氏ノ盡力ニ負フ所大ナリ。



内田章氏	灘吉之助氏
井田繁太郎氏	岡田平三郎氏
伏原利造氏	北本仙之助氏
若狹長三郎氏	山岡卯一郎氏
池田秀太郎氏	西村岩次郎氏

二、設立認可

昭和六年九月二十三日京都市指令五號第五三四〇號ヲ以テ組合設立ノ件認可
アリ。十二月十一日上京稅務署長ニ區劃整理施行届ヲ提出セリ。

三、組合員

組合員ハ組合設立當時百二人ナリシガ年ト共ニ増加シ最近ニ至リ百三十二人
トナレリ。

昭和九年三月末現在ノ組合員氏名左ノ如シ。

組 合 員

伊藤庄兵衛	伊勢佐一郎 外二名	井田榮造
井田繁太郎	井上維	井上儀三郎
井上録吉	池田松太郎	岩田庄一郎
岩崎門藏	石丸喜作	飯沼市郎
今井敏夫 外一名	今井敏夫	鹿苑寺
春田惣太郎	畑春藏	林平九郎
林カヅ	橋本與三吉	西村岩次郎
西川亥之介	本田操	法普寺
堀要陸	寶光井顯 外一名	富岡專之助
富岡專之助 外三名	富岡專之助 外二名	大八木治一
大川辰之助	奥山春吉	岡田善一
岡本伊三郎	岡本鐵太郎	岡本秀三郎
岡本義一郎	奥野捨吉	大藤博治郎
若狭常治郎	若林初太郎	若林政次郎
加藤敬三	片山榮太郎	片山定次郎
角井延技	角井清	河那邊五兵衛
河合義文	吉本半二	吉村友次郎
田中直方	田中伊之助	田中佐一郎
田中常太郎	谷口寅松	谷川トク
高田復三	垂井増太郎	竹内ナミ
宅間末之助	田中重二郎	高山信三
橋正壽	高橋豊三郎	武居高四郎
高田貞二	武村清一郎	植田清次郎
土田與一	土田源藏	瀧吉之助

第二、規 約

瀧 信一郎	瀧 辰造	中村正三郎
瀧 平治	村上作次郎	上原八右衛門
内田雄六	梅村治郎兵衛	唄アイ
野口佐四郎	野口佐四郎 外一名	野田廣吉 外一名
久我實	山岡卯一郎	山田岸太郎 外二名
山村朋三郎 外一名	柳田吉	柳田厚二
的場喜三郎	増田喜一	前川嘉三郎
松村同	福井伊三郎	小林與一郎
小島直三郎	麻田好雄	麻田半兵衛
嬰庭吉之助	有光イソ	赤塚勇次郎
有田孫八郎	阿部現亮	佐々本藤吉
佐々本藤左衛門	佐々木富之助	澤井喜三郎
坂根一治	坂本助藏	北本仙之助
北本祐一郎	北井房次郎	北原甚六
北村利三郎	木村卯兵衛	木村清外一名
木村庄次郎	宮脇かつ	三崎篤
淨土宗教育資團	島田道男	廣瀬龜次郎
廣瀬涉	久松炳	平井はる
日比野誠吉	比果米合名會社	比果米三 外一名
百木ワル 外一名	相村亮辨	菅原龍太郎

規約ハ後述設計書ト共ニ組合設立認可申請者ニ於テ之ヲ作成シ、土地所有者ノ法定數以上ノ同意ヲ得テ府知事ニ申請シ其ノ認可ヲ得タルモノナリ。
其後耕地整理法ノ改正ニヨリ規約中ニ等位ノ評定ニ關スル規定ヲ新ニ設クルノ必要生ジ、又用語ノ變更其ノ他ノ修正ヲ要スルニ至リタルヲ以テ、昭和七年

二月二日組合會ニ於テ之ガ變更ノ決議ヲナシ、府知事ニ申請同年三月九日認可
ヲ得タリ。

四

變更後ノ本組合規約左ノ如シ。

第一條 本組合ハ設計書及本規約ノ定ムル所ニ依リ土地ノ交換、分合、開墾、
地目變換、區劃形質ノ變更、道路、堤塘、畦畔、溝渠ノ變更廢置、排水ニ關
スル設備及工事並ニ其ノ維持管理及兒童遊園敷地ノ造成ヲ行フモノトス

第二條 本組合ハ金剛寺土地區劃整理組合ト稱ス

第三條 本組合ノ事務所ハ之ヲ京都市役所内ニ置ク

第四條 本組合ニ組合長一名、組合副長二名及評議員十一名ヲ置ク

第五條 組合長、組合副長及評議員ハ耕地整理法施行規則第四十五條ノ場合ヲ
除ク外組合會ニ於テ之ヲ選舉ス

組合長、組合副長及評議員ノ任期ハ四ケ年トス、但シ再選ヲ妨ケス

補選選舉ニ依リ就任シタル組合長、組合副長及評議員ハ前任者ノ任期ヲ繼承
ス

組合長、組合副長及評議員ハ任期滿了後ト雖モ後任者ノ就職スル迄仍其ノ職
務ヲ行フモノトス

第六條 組合長事故アルトキハ八年長順ニ依リ組合副長其ノ職務ヲ代理スルモノ
トス

第七條 組合長ハ耕地整理法第六十一條第一號ノ事項ニ付總會ノ表決ヲ經ムト
スルトキハ豫メ評議員會ニ諮詢スベシ

第八條 本組合ニ組合會ヲ置ク

組合會議員ノ定數ハ十五名トス

第九條 組合會議員ノ任期ハ四ケ年トス

第五條第二項但書及第三項ノ規定ハ組合會議員ニ之ヲ準用ス

第十條 組合會議員ノ選舉ヲ行フニハ組合長ハ選舉ノ日ヨリ少クトモ五日前ニ
選舉スヘキ議員ノ數、選舉ノ日時及場所ヲ記載シテ各組合員ニ通知ヲ發スヘ



第十一條 組合會議員ノ選舉ハ組合長之ヲ管理シ其ノ指名ニ依ル評議員五名以
上ノ立會ヲ以テ之ヲ行フ

第十二條 投票用紙ハ選舉管理者之ヲ定ム

選舉管理者ハ組合會議員選舉錄ヲ作り選舉ノ顛末ヲ記載シ立會人ト共ニ署名
捺印スヘシ

第十三條 組合會議員ハ組合員單記無記名投票ニ依リ之ヲ互選ス、其ノ得票同
數ナルトキハ八年長順ニ依リ年輪同シキトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第二十條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十四條 投票ノ拒否及効力ハ選舉立會人之ヲ決ス、可否同數ナルトキハ選舉
管理者之ヲ定ム

第十五條 組合會議員ニ當選シタルモノハ當選通知ヲ受ケタル日ヨリ五日以内
ニ諾否ヲ組合長ニ届出ツヘシ但シ其ノ期間内ニ届出ナキモノハ當選ヲ承諾シ
タルモノト看做ス

前項ノ期間内ニ當選ヲ辭シタルモノアルトキハ次點者ヲ以テ當選者ト定ム

第十六條 組合員ハ代理人ヲ以テ第十三條ノ選舉權ヲ行フコトヲ得

代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ選舉管理者ニ差出スヘシ

第十七條 組合會議員ノ闕員ヲ生シタルトキハ三ヶ月以内ニ補選選舉ヲ行フモ
ノトス、但シ五名迄ノ闕員ハ之ヲ補充セサルコトヲ得

第十八條 左ニ掲タル事項ハ評議員會ニ於テ之ヲ議決シ組合會ノ議決ニ代フル
モノトス

- 一、經費ノ收支豫算ヲ定ムルコト
- 二、組合費ノ分賦收入ニ關スルコト
- 三、設計書ノ輕易ナル事項ノ變更ヲナスコト
- 四、每事業年度ノ事業報告書及收支決算書ヲ承認スルコト
- 五、耕地整理法施行規則第十九條及第十九條ノ二ノ規定ニ依ル指定又ハ處

第十九條 耕地整理法第三十條第一項第二項ノ處分ニシテ止ムヲ得サル事情ニヨリ變更又ハ更生ノ必要アルトキハ些少ノ變更又ハ更正ニ限リ利害關係アル組合員ノ承諾ヲ得テ評議員會ニ於テ議決シ總會ノ議決ニ代フルモノトス

第二十條 總會ニ於テ組合員ノ有スル表決權ハ各一個ノ外其ノ所有スル土地ノ地積三百坪ヲ超過スルモノニアリテハ其ノ超過坪數三百坪毎ニ一個ヲ加フルモノトス但シ一人ノ有スヘキ表決權ノ數ハ表決權總數ノ五分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ス

第二十一條 耕地整理法第五十條ノ條件ヲ具備スルコトヲ要スル事項ノ表決ニ付總會ヲ召集スルコト再回ニ至ルモ尙ホ同條ノ條件ヲ具備スルニ足ルヘキ出席者ナキ場合ハ同法第六十八條第一項ノ規定ニ依リ表決ヲナスコトヲ得

第二十二條 耕地整理法施行規則第五十三條ノ條件ヲ具備スルコトヲ要スル事項ノ表決ニ付組合會ヲ召集スルコト再回ニ至ルモ尙ホ同條ノ條件ヲ具備スルニ足ルヘキ出席者ナキ場合ハ組合會議員總數ノ半數以上出席シ其ノ過半數ノ同意ニ依リ表決ヲ爲スコトヲ得

第二十三條 本組合ニ工事・會計及庶務ノ三係ヲ置テ各係ノ事務ハ組合長ノ定ムル所ニヨリ組合副長又ハ評議員之ヲ分掌ス

第二十四條 工事係ニ於テハ設計書ニ定メタル工事及設備並ニ工作物其ノ他ノ設備ノ維持管理ニ關スル事務ヲ掌ル

會計係ニ於テハ豫算、決算、金銭及物品ノ出納ニ關スル事務ヲ掌ル

庶務係ニ於テハ文書ノ調製、往復及他ノ係ニ屬セサル事務ヲ掌ル

第二十五條 組合長ハ豫算ノ範圍内ニ於テ技術員、書記其ノ他ノ事務員ヲ任用スルコトヲ得

前項技術員ノ任免ハ評議員會ニ諮詢スヘシ

第二十六條 工事ノ施行方法又ハ物品ノ購入方法ハ金額壹百圓ヲ起ユルトキハ評議員會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

組合長、組合副長又ハ評議員ハ工事ノ請負ヲナスコトヲ得ス

第二十七條 金銭ハ評議員會ニ於テ定メタル銀行、信用組合又ハ個人ニ預ケ入ル、モノトス

第二十八條 耕地整理法第八條及第二十七條ニ依ル補償金ノ額ハ被害者ヨリ損害見積書ヲ提出セシメ評議員會ノ議決ヲ經テ組合長之ヲ定ム

第二十九條 工事施行中道路、堤塘、溝渠其ノ他ノ工作物ノ敷地ト爲シタル土地又ハ工事用材料置場ニ充テタル土地ニ對シテハ其ノ借貸ヲ見積リ評議員ノ議決ヲ經テ補償ヲ爲スモノトス、但シ第三十條ノ規定ヲ適用スヘキ時期ニ至リタルモノハ此限ニアラス

第三十條 第三十四條ノ規定ニ依リ使用スル土地カ工事済ノ土地ニシテ其ノ收益カ之ニ對スル土地ノ従前ノ收益ト異ナル場合ハ其ノ借貸ノ差額ヲ見積リ評議員ノ議決ヲ經テ補償金ヲ徵收シ又ハ交付スル事ヲ得

第三十一條 組合費ハ豫算ノ定ムル所ニ其ノ地區内ノ整理前ノ土地ノ地積ヲ標準トシテ之ヲ分賦ス但シ特別ノ事情アル場合ハ地區内一部ノ土地ヲ處分シテ之ヲ組合費ニ充當スルコトヲ得

第三十二條 組合費其ノ他ノ金銭納付ノ期日及場所ハ組合長之ヲ定メ十日以前組合設立認可告示ノ日ニ現存セル建物敷地ニ付テハ特別ノ事情アル場合ニ限り評議員會ノ議決ヲ經テ組合費ヲ輕減スルコトヲ得

第三十五條第三項ニヨリ換地ヲ交付セサル土地ニ對シテハ評議員會ノ議決ヲ經テ組合費ヲ分賦セサルコトヲ得

第三十二條 組合費其ノ他ノ金銭納付ノ期日及場所ハ組合長之ヲ定メ十日以前ニ組合員ニ通知スルモノトス

第三十三條 組合員ニシテ組合費又ハ第三十一條若クハ第三十七條ニ依ル徵收金ノ納付ヲ怠リタル場合ハ其ノ延滞日數ニ應シテ金壹百圓ニ付一日金四錢ノ延滞利ヲ徵收スルノ外督促一回毎ニ金二十錢ノ過怠金ヲ徵收ス

耕地整理法第七十九條ノ規定ニ依リ市町村ニ於テ處分ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ徵收金額ノ九十六分ノ四ニ相當スル過怠金ヲ徵收ス

第三十四條 耕地整理法第三十條第四項ノ告示前ニ於テハ工事ニ妨ケナキ限り組合員ハ其ノ所有地ヲ使用スルコトヲ得但シ従前ノ地域ニ依リ之ヲ使用スルコト能ハサルトキハ組合會ノ表決ヲ經テ組合長使用區域ヲ指定スルモノトス

第三十九條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三十五條 換地ヲ交付スルニハ地目、地積、等位及評定價額ヲ標準トス、但シ組合員ニ交付スル換地ノ總地積ハ成ルヘク従前ノ土地ノ總地積ニ比例セシムルモノトス

組合設立認可告示ノ日ニ現存セル建物敷地ニ對シテハ前項ヲ適用セサルコトヲ得

従前ノ土地地積又ハ價格僅少ニシテ第一項ノ規定ニ依リ難キモノ又ハ整理前民有ニ屬スル道路敷地ニシテ整理後國有ニ歸スヘキモノニ對シテハ換地ヲ交付セス金錢ヲ以テ清算スルコトヲ得

第三十六條 兒童遊園敷地ハ之ヲ京都市ニ寄附スルモノトス

第三十七條 換地交付ニ關シ徵收又ハ交付スヘキ清算金額ハ従前ノ土地ノ評定價額ニ換地處分迄ニ徵收シタル金額ヲ加ヘタル額ヲ第二次評定價額トシ其ノ總額ニ對スル換地ノ評定價額ノ總額ノ比ヲ従前ノ土地各筆ノ第二次評定價額ニ乘シタル額ト換地ノ評定價額トノ差額トス但シ比ヲ算定スルニ當リ評議員會ノ議決ヲ經テ換地ノ評定價額總額ヨリ整理後要スル費用ノ一部又ハ全部ヲ減シタル額ヲ以テスルコトヲ得

前項但書ノ適用ニ依リテ生シタル徵收金ノ超過額ハ評議員會ノ議決ヲ經テ年賦拂ト爲スコトヲ得

第一項但書ノ適用ニ依リテ生シタル徵收金ノ超過額ハ之ヲ費用ニ充當スルモノトス

第三十八條 土地ノ等位ハ土地ノ形狀高低、干濕、收益、賃賃價格、交通ノ便否、其ノ他特殊ノ事情ヲ斟酌シテ組合長之ヲ評定シ評議員會ニ諮問シタル後耕地整理法施行規則第五十三條ノ條件ヲ具備スル組合會ノ表決ヲ經ヘシ

土地ノ價格ハ前項ノ等位ヲ標準トシテ組合長之ヲ評定シ評議員會ニ諮問シタル後耕地整理法第三十條第一項第三項ノ規定ニ依ル處分ニ付キ表決ヲナス總會ノ議決ヲ經ヘシ

第三十九條 組合長ハ工作物其ノ他ノ設備ノ維持管理ニ付隨時適當ノ處置ヲナスコトヲ得、但シ金壹百圓以上ヲ要ス修繕又ハ改良ニ付テハ評議員會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス

第四十條 工事並ニ其他ノ事務ハ評議員會ノ決議ニ依リ之ヲ京都市ニ委託スルコトヲ得

第四十一條 組合長、組合副長、評議員及組合員ニハ豫算ノ定ムル所ニ依リ報酬、實費辨償、又ハ手當ヲ支給スルコトヲ得

第四十二條 組合長必要アリト認メタルトキハ評議員會ノ議決ヲ經テ工事、會計、庶務、報酬手當支給ニ關スル細則ヲ設クルコトヲ得

第三、組合ノ機關

一、意思機關

イ、總會

昭和六年十月二十八日創立總會ヲ開キタルガ、其ノ後總會ニ代ハルベキ組合會ヲ設ケタルヲ以テ、總會ハ換地處分ヲナスニ至ル迄開會ノ要ナキコトトナレリ。創立總會ノ決議事項等左ノ如シ。

會場	出席人員	決議事項	署名事人
衣笠第一小學校	六四	一、組合設立認可申請者ノ選シタル一切ノ事項承認ノ件 二、組合長、組合副長、評議員選任ノ件	署名人 井田繁太郎 高田復三

ロ、組合會

本組合ハ組合員百名以上ヲ有スルヲ以テ、總會ヲ開クコトハ煩勞ナルノミナ
 ラズ往々其ノ成立ヲ見ルコト困難ナル場合アルヲ慮リ、總會ニ代ハルベキ組合
 會ヲ設ケタリ。組合會ノ議員ノ定數ハ十五名ニシテ、昭和七年一月二十日衣笠
 第一小學校ニ於テ其ノ選舉ヲ行ヒ、同年二月二日第一回組合會ヲ開キ爾來之ヲ
 開クコト七回ニ及ベリ。其ノ間組合會ガ總會ニ代リテ十分其ノ機能ヲ發揮シ組
 合事業ノ進捗ヲ見タルハ議員諸氏ノ犧牲的精神ニ依ルコト多シト云フベシ。組
 合會議員ノ氏名左ノ通り。

- 伊藤 庄兵衛
- 井田 繁太郎
- 池田 松太郎
- 西村 岩次郎
- 岡本 義一郎
- 大八 木治一
- 岡田 平三郎 死亡、昭和八年七月二十一日
- 内田 雄六
- 山岡 卯一郎
- 北本 祐一郎
- 久松 炳
- 山田 岸太郎
- 富岡 專之助
- 片山 榮太郎
- 若林 初太郎

附議事項等ノ重ナルモノ第一表ノ如シ

ハ、評議員會

評議員會ハ組合ノ業務若ハ財産ノ狀況ノ監査ヲナシ規約ノ定ムル範圍ニ於テ
 議決機關トシテ行動スルモノナレバ、組合設立以來最近ニ至ルマデノ開會數二
 十三回ノ多キニ及ベリ。
 附議事項等ノ主ナルモノ第二表ノ如シ。

二、業務執行機關

イ、組合長

組合ノ事業ハ複雑多岐ニシテ困難ナルモノ多キヲ以テ、事業ノ圓滿ナル遂行
 ヲ期センニハ組合長ニ其ノ人ヲ得ザルベカラズ。殊ニ本組合ノ事業ハ京都市ノ
 都市計畫事業ト密接ナル關係ニ在ルヲ以テ、京都市長ノ職ニアル人ヲ組合長ニ
 推戴スルヲ最モ適當ナリトシ創立總會ニ於テ時ノ市長土岐嘉平氏ヲ推薦シタリ
 其ノ後土岐市長ニ代リテ森田茂氏京都市長ニ就任スルヤ同氏ヲ組合長ニ推戴
 シ同氏薨去後現市長大森吉五郎氏ヲ推戴シ今日ニ及ベリ。
 組合長ノ就任其ノ他左記ノ通トス。

氏名	摘	要
土岐 嘉平	創立總會ニ於テ推戴 認可就任	昭和六年十月二十八日 昭和七年一月二十七日
森田 茂	第一回組合會ニ於テ推戴 認可就任	昭和七年二月二日 昭和七年三月九日
大森吉五郎	第四回組合會ニ於テ推戴 認可就任	昭和八年一月廿六日 昭和八年二月九日

ロ、組合副長

組合ノ事業ハ前述ノ如ク廣汎ニシテ複雑ナルガ故ニ組合長一人ニテ之ヲ處理
 スルコト能ハサルニ依リ組合長ヲ補佐シ尙組合長ニ事故アル場合之ヲ代理スル

機關トシテ組合副長二名ヲ置クコトトセリ。
 組合副長ニハ創立總會ニ於テ濹吉之助、伊藤庄兵衛ノ二氏ヲ選ビ、昭和六年十二月七日府知事認可ヲ得テ就任シタリ。
 本組合事業ガ圓滿ニ進捗シ今日ノ成果ヲ收メルニ至リシハ兩副組長ノ熱心ナル努力ノ賜ニシテ其ノ功績ハ詢ニ顯著ナリト云ハサルヘカラス。

ハ、評議員

評議員ハ組合ノ財産及ビ組合長ノ業務執行ノ狀況ヲ監査シ、其ノ諮詢ニ應ズルノ外、規約ノ定ムル所及組合長ノ委任ニヨリ組合ノ事務ヲ分擔スルモノニシテ本組合ハ其ノ定員ヲ十一名トシ創立總會ニ於テ之ヲ選舉シタルガ、其ノ後二名ノ缺員ヲ生シタルヲ以テ昭和八年十一月十四日第六回組合會ニ於テ其ノ補欠選舉ヲ行ヒタリ。

各評議員ガ組合設立ノ當初ヨリ今日ニ至ル迄互ニ和衷協同シテ良ク其ノ職務ニ盡瘁サレタルハ感謝ノ外ナク、組合ノ事業ガ豫期ノ如ク進捗スルヲ得タルモ全ク評議員諸氏ノ努力ノ賜ト云フベシ。
 評議員ノ氏名左ノ通りトス。

- 井田 繁太郎
- 池田 松太郎
- 西村 岩次郎
- 岡本 義一郎
- 大八木 治一
- 岡田 平三郎 死亡 昭和八年七月二十一日
- 内田 雄六
- 山岡 卯一郎
- 北本 祐一郎
- 木村 三郎 死亡 昭和七年十月十七日

若林 初太郎 昭和八年十一月十四日
補缺選舉ニヨリ就任
 岡田 善一 同上

各係ノ分擔左ノ通りトス。

- 庶務係 濹 吉之助 久 松 炳
- 會計係 伊藤 庄兵衛 井田 繁太郎
- 工事係 組合副長及評議員全員

第四、計畫ノ概要

一、施行地區並ニ整理前ノ現況

本地區ハ京都市ノ西北部ニ位シ、東ハ巖野北町、及同十二坊町蓮台寺西裏ヲ境トシ、西ハ衣笠山々麓ニ沿ヒ、南ハ鞍馬口通ヲ以テ劃シ、北ハ三條天皇御陵ノ北方ヲ東ヘ紙屋川ヲ經テ御土居ノ東側ニ至ル、區域内實測面積八萬六千餘坪ナリ。組合設立認可申請當時ノ面積等ヲ稅務署土地臺帳ニ依レバ左ノ如シ。

總面積	八〇、四二八、四九
民有地	七三、六三九、四九
國有地	六、七八九、〇〇
地價	一一、二二六、七三
筆數	三一九
土地所有者數	一〇二

本地區ハ大半農耕地ナルモ、紙屋川ノ流域ハ一帯ノ凹地ヲナシ荒地ノ狀態ニアリタリ。

而シテ交通ノ設備極メテ不完全ニシテ漸ク農耕用ノ手車ヲ通シ得ベキモノノ南北ニ三條ヲ有スル以外ニハ、概ネ三尺内外ノ通路不規律ニ介在スルノミニシテ土地區劃ノ形狀又極メテ不整形ナリシヲ以テ土地利用上不經濟ヲ極メタリ。然ルニ近來家屋ノ新築セラルルモノ激増シタルニ不拘其ノ敷地ヲ從來ノ耕地

其ノ儘ノ形状ニ委ネアルヲ以テ頗ル亂雜ヲ極メ、道路ニ系統ナク家屋ノ建築ニ統制ナク全ク無秩序ナル市街化ヲ見ンコト明ナル状態ニアリタリ。

二、工事ノ計劃

1、道 統

地區内道路ノ計劃ハ一體ニ於テ京都市ノ町割委員會ニ於テ決定サレテ建築線ノ指定セラレタルモノニ準據シ京都市計畫事業第一號路線(幅員十五間)ノ一部及二等大路第三類第十八號線(鞍馬口通幅員十一米)ノ一部ヲ造版スルノ外、幅員八米及六米ノ補助道路ヲ配置シタリ(竣工圖參照)但シ第一號線ノ道路工事費ハ都市計畫事業トシテ市ノ負擔スル所ナリ。各道路ノ兩側ニハ總テ側溝ヲ設ケ、其ノ流末ハ紙屋川及下水渠ニ放流ス。

又補助道路ノ交叉箇所ニハ交通ノ圓滑ヲ計ルタメ三米ノ街角剪除ヲナセリ。

2、河川、橋梁

紙屋川ハ開キ橋以南ノ部分ヲ改修シ、之ニ大文字橋、開キ橋、股橋、電橋ノ四橋ヲ架セリ。

3、兒童遊園

兒童遊園地ヲ紙屋川東部ニ設ケ兒童ノ保健衛生ニ資スルコト、セリ。此ノ坪數八百二十二坪ナリ。

三、計畫ノ變更

本組合地區ノ設計ハ大要前述ノ通りニシテ、之ニ基キ工事ヲ進メ居タルトコロ、組合員小林與一郎外三名ヨリ、紙屋川開キ橋以北ノ改修ヲ組合ニ於テ施行サレ度キ旨ノ陳情アリ。依テ昭和八年五月第四回組合會ニ諮リタルニ、組合設立當時ヨリモ物價ノ騰貴セル際ナルヲ以テ、關係組合員ニ於テ設計當時ノ工事費單價ト現在ノ單價トノ増差額ヲ特ニ負擔スベキ事ヲ條件トシテ本件ヲ承認シ追加施行スルコト、セリ。

第五、施行準備

一、整理前土地各筆ノ等位評定

土地ノ等位ハ換地交付ノ標準トナルモノナレバ、其ノ評定ヲナスニハ特ニ慎重ナル態度ヲ要ス。依テ本組合ハ規約第三十八條ニ其ノ評定方法ヲ明示シ且ツ表決ノ條件ヲ普通ノ表決事項ヨリモ重加セリ。

而シテ整理前ノ土地ノ等位ハ工事着手前ニ決定セザルベカラザルヲ以テ、昭和七年三月十六日第二回組合會ニ附議シテ之ヲ定メタリ。

二、使用區域ノ指定

使用區域ヲ指定ハ換地處分ノ前驅トモ云フベク、前述土地ノ等位決定ト共ニ重要ナル事項ナルニ付第二回組合會ニ於テ慎重審議ノ結果之ヲ決定セリ。

之レニ依リ地區内民有地ノ平均減歩率ハ一割六分ニシテ、最高三割二、三分ヨリ最低四分トス。但シ規約第三十五條第三項該當地ニシテ使用區域ヲ指定セザリシモノ九筆アリ。

使用區域ノ指定ハ前述ノ通りナルモ其ノ後設計變更其ノ他ノ事由ニ依リ一部之ヲ變更シタルモノアリ。

第六、施 工

一、工事請負入札並ニ契約

昭和七年五月十六日ノ評議員會ニ於テ工事ヲ請負ニ付スルコトニ決定シ、其ノ豫定價額ヲ金九萬七千九百二十圓ト定メ、豫定價額ノ三分ノ二ヲ下ラザル最低入札者ヲ落札者トスルコトニ定メタリ。而シテ同日衣笠第一小學校ニ於テ入札指名人井川繁太郎等二十二名ヲシテ入札セシメ、開札ノ結果金六萬五千三百三十四圓ヲ以テ矢野彌治郎ニ落札セリ。依テ同月十九日本組合工事仕模書並ニ

設計書ニ基キ矢野彌治郎ト請負契約ヲ締結シ、工事ノ竣工期日ヲ昭和七年十二月三十一日ト定メタリ。

右請負契約後約一ケ年ヲ經テ紙屋川上流改修工事ノ議起リ之ガ決定ヲ見ルヤ追加請負契約ヲナスノ必要ヲ生ジタルモ、追加工事ハ既ニ施工セルモノト不可分ノモノナルヲ以テ、矢野彌治郎ト隨意契約ニヨルヲ可ト認メ昭和八年六月十三日金一萬圓ヲ以テ該當工事ノ請負契約ヲナシタリ。

二、工事着手

昭和七年五月二十五日工事ニ着手シ、其ノ旨京都府知事、市長並ニ上京稅務署長ニ届出タリ。

三、工事竣工

工事ノ竣工期日ハ昭和七年十二月三十一日ト契約シタルモ、其ノ後紙屋川上流改修並ニ道路工事等ヲ追加施行スルコトニ爲リタル爲期限ヲ延長シ、昭和八年十一月十五日竣工、昭和九年三月六日京都府ノ竣工検査ヲ受ケタリ。

第七 整理施行地ニ對スル設備

一、上水道ノ敷設

區劃整理ハ土地ノ宅地トシテノ利用増進ヲ計ルモノナレバ宅地ト不可分ノ關係ニアル飲料水ノ供給乃チ上水道布設工事ヲ行フコトハ緊要事ナルヲ以テ、昭和八年五月二十二日第五回組合ニ於テ之ガ敷設ヲ議決、同年八月十七日水道配水管敷設ニ關スル京都市長ノ認可ヲ得、同年十一月十五日豫納金九千九百六十五圓ヲ京都市ニ納付シタリ。
此ノ水道管ハ地區内ノ主要ナル道路ニノミ布設スルモノナルモ、其ノ中第一號路線ノ兩側ニ布設スル幹線ノミハ京都市ノ負擔ニ屬ス。

二、兒童遊園地ノ造成

本組合ハ近時都市問題ニ於テ重要視セララルニ至リタル所謂綠地若ハ小公園等ノ解決ニ資センタメ、設計書ニモ述ベタル如ク紙屋川ニ沿ヒ約八百坪ノ地ヲ相シ兒童遊園敷地ヲ造成シタリ。之ガ諸設備ハ市ノ事業ニ屬スルモ成功ノ曉ハ紙屋川一帯ノ景致ト相俟ツテ地區内ノ面目ヲ一新スル施設タルヲ失ハズ。

第八 會計

一、豫算及決算

本組合ノ總豫算ハ設計書中ニ定メタル金額十三萬八千六百圓トス。而シテ毎年度ノ實行豫算ハ總豫算ノ範圍内ニ於テ評議員會ノ議決ヲ以テ之ヲ定ムルモノトス。

昭和六年度乃至八年度ノ收支豫算書及昭和六年度及七年度決算書ハ第三、四五表ノ通りトス。

二、借入金

事業資金ハ賦課金、殘地賣却代金等ヲ以テ之ニ充當スル計畫ナルモ組合費ヲ一時ニ徴收スルコトハ組合員ノ負擔過重トナルニ依リ之ヲ分割徴收スルコト、セリ從ツテ事業資金ノ不足額ハ借入金ヲ以テ支辨スルノ必要ヲ生ジ第一回組合會ニ於テ最高額十萬圓ノ起債決議ヲナシ、昭和七年三月二日府知事ノ認可アリタリ。其後低利資金ノ借入ニ關スル手續ノ關係上尙七萬一千百圓ノ起債決議ヲ必要トスルニ至リタルヲ以テ、第六回ノ組合會ニ附議シ、昭和九年一月十一日府知事ノ認可ヲ得タリ。

而シテ償還財源ハ組合費、賦課金、殘地賣却代金其ノ他ノ收入ヲ以テ之ニ充當スルモノトス。

右組合債ノ借入先左表ノ通りトス。

ル道路、清楚タル水流、適當ナル割地ノ配合ヲ得テ絶好ノ住宅地ト變ジ、實ニ滄桑ノ變モ管ナラザルモノアリ。殊ニ第一號線ハ本市外割線ノ一部ヲナスモノニシテ本地區ニ隣接スル西紫野組合及東紫野組合、下鴨組合等ニヨリ賀茂川ヲ越エテ高野川ニ至ル迄竣工シタル北大路ハ既ニ商賈體ヲ連ネ、本地區モ今ヤ車馬終驛ノ巷ト化セントス。殊ニ本地區ノ整理完成ニ依リ名勝念閣寺ヲ始メ西山方面ニ遊覽ノ杖ヲ曳ク者ニ交通ノ便ヲ與ヘタル事ハ特記スヘキ事項ナリ。又經濟上ヨリ見ルニ大正十五年京都市ガ區劃整理計畫ヲ發表スル迄ハ地區内ノ地價漸ク五、六圓ヲ唱フルニ過ギザリシガ、其ノ計畫發表セラレ、ヤ急ニ十圓若ハ二十圓ニ躍進シ更ニ本組合ノ工事竣工ニ依リ五十圓乃至七、八十圓ヲ稱フルニ至レリ。之レ區劃整理事業ガ經濟上ニ齎ラス利益ノ一面ニ過ギズ其ノ有形無形ニ地區ノ發展惹テハ都市進展ニ寄與スル利益ニ至ツテハ舉ゲテ數フベカラザルナリ

結

本組合ハ上述ノ如ク設立以來二ヶ年ニシテ工事ヲ終了シ町名地番ノ設定、換地處分等ノ事務ヲ殘スノミトナリタルヲ以テ工事ノ完成ヲ期トシ竣工式ヲ舉行スルコト、ナリ、昭和九年四月十日京都市公會堂ニ於テ之ガ式典ヲ舉ゲ同時ニ組合員代表者ヲシテ氏神藥大神ニ竣工報告ノ禮ヲ致シメタリ。本日ノ式典ニ招待シタル人士左ノ如シ。(略敬稱)

- 京都府 中川幸太郎 山口乾治 丹羽氏行
 戸田廣次郎 大木外次郎 和田甲一
 早川 達 岩澤周一 西村捷比吉
 西池 忠 神山盛亮 生島稔郎
 池田和一郎
 大森吉五郎 村松武美 伊賀良一
 中山邦朋 高田 景 杉山元之助
 渡邊 競 田口俊一 井手久馬彦

- 有本健三郎 山口清吉 稻垣甚藏
 山本謙二 山本繁吉 鈴木清
 安藤貞雄 鹽田忠男 曾和宗十郎
 太田滿之助 森本辰雄 吉澤覺治郎
 木村 喬 鹽谷 淳 堀川精一郎
 江田嘉一 本城信治 排野恭助
 内藤淳司 森田雄藏 菊川光治
 小石原辰男 近藤三四郎 河西昌温
 藤井市郎 八重柏 正 淺尾久員
 安達幸一 久我信良 八島七三郎
 北川壽雄 梅垣庄吉 有光壬辰
 富田惠四郎 關目秀靜 三浦義導
 岩井芳通 護 環
 菅波鶴雄 木村庄造 久下英之
 細川與治 岩倉具廣 皆川寛長
 小野光男 谷山留治郎 橋本善一
 關田磯治 山本信保 西川善雄
 西山源治 芦谷半治 橋本 環
 小川龍一 出水正俊
 末 藤 準 川崎榮喜田 重村榮次郎
 長尾正之 小林正二 山脇初二
 伏原利造
 丸谷平木
 日本勸業銀行
 第一銀行西陣支店
 衣笠學區
 今澤美雄 菅井信造 吉岡徳太郎
 中越龍雄 田口藤次郎 岸大路 卯三郎

若狭長三郎 森吉之助 蓮井一郎

樂只學區
工事請負人

今井俊道 後藤安吉 藤川良藏

新聞社

大阪朝日新聞社京都支局 大阪毎日新聞社京都支局

京都日日新聞社 京都日出新聞社 京華日報社
大阪時事新報社京都支局

如斯組合ノ事業ガ圓滿ナル進捗ヲ見工事ノ竣成ヲ告グルニ至リタルハ本事業
ニ對シ京都市ガ組合設立其他一切ノ事務ヲ助成スル所アリ、其ノ指導監督宜シ
キヲ得タル實ニシテ組合員一同ノ深ク感謝スル所ナリ。特ニ爰ニ之ヲ誌シテ京
都市長ヲ初メ直接指導監督ノ術ニ當ラレタル諸氏ニ深ク謝意ヲ表ス

昭和六年度收支豫算及決算書 (第三表)

歳入之部

科目	決算額	豫算額	増比	減額	備考
第一款 財産収入	一九七七	二二〇〇		五二八	預金利子
第一項 財産収入	一九二七	三三〇〇		一三七三	
第二款 整理地賣却代金					殘餘地賣却代
第一項 整理地賣却代金					
第三款 借入金	四四、八〇〇〇	一〇〇,〇〇〇〇		五五,二〇〇〇	
第一項 借入金	四四、八〇〇〇	一〇〇,〇〇〇〇		五五,二〇〇〇	
第四款 徴収金	三、九五四一	一〇,四四〇二		七,四八六一	組合費徴収金
第一項 徴収金	三、九五四一	一〇,四四〇二		七,四八六一	
第五款 雑収入	二二八	一五〇〇		一二七二	督促手数料及延滞利子
第一項 雑収入	二二八	一五〇〇		一二七二	
計	四七,九四一六	一一〇,六九〇〇	六八八	六二,七四八四	
徴収未済	三〇九三				
合 計	四七,九七六〇九	一一〇,六九〇〇〇		六二,七四八四	

歳出之部

科目	決算額	豫算額	増比	減額	備考
第一款 事務費	一、二五四八	二二〇〇			不足額ハ豫備費ヨリ流用ス
第一項 事務費	九一四七	六〇〇〇			通信費、消耗品費及 起工地鎮祭費其他
第二項 會議費	一六三四	一五〇〇			總會及組合會評議員會費
第二款 工事費		八九,二八〇〇		八九,二八〇〇	
第一項 工事費		八九,二八〇〇		八九,二八〇〇	
第三款 借入借還金	三三,四〇〇〇	三三,四〇〇〇			
第一項 借入借還金	三三,四〇〇〇	三三,四〇〇〇			
第二項 借還元金	一五,〇〇〇〇			一五,〇〇〇〇	
第三項 借還利子	四八〇〇			一,九三〇〇	
第四款 借費	一〇,六六七三	一六,八〇〇〇		六,一三二六	建物及植樹其他地上物件移轉補 借費
第一項 借費	一〇,六六七三	一六,八〇〇〇		六,一三二六	
第五款 豫備費		二,〇〇〇〇		二,〇〇〇〇	事務費ニ流用
第一項 豫備費		二,〇〇〇〇		二,〇〇〇〇	
計	三三,三三三	一一〇,六九〇〇		七五,四九九六	
徴収未済額	三〇九三				
合 計	四七,九七六〇九	一一〇,六九〇〇〇		七五,四九九六	

昭和七年度收支豫算及決算書 (第四表)

歳入之部

科目	決算額	豫算額	比増	減額	備考
第一款 財産収入	275,112	270,000	3.5%		預金利子
第一項 財産収入	275,112	270,000	3.5%		
第二款 特別處分地	1,000,000	1,000,000			預金利子
第一項 整理地賣却代	1,000,000	1,000,000			殘餘地賣却代
第三款 借入金	20,000,000	20,000,000			
第一項 借入金	20,000,000	20,000,000			
第四款 徴収金	6,081,335	4,999,000	21.6%	1,082,335	坪富貯錢宛別徴収豫定ノ處本年度内一回徴收セルノシテ其ノ内本年度未徴収金一、三九四、〇〇〇六ハ翌年度へ繰越ス、三九四、〇〇〇六ハ翌年度組合費未徴収金翌年度へ繰越
第一項 徴収金	6,081,335	4,999,000	21.6%	1,082,335	
第二項 繰越金	1,077,494	1,923,777	-43.2%	846,283	昭和三年度組合費未徴収金翌年度へ繰越
第五款 雑収入	332,666	500,000	-33.2%	167,334	督促手数料、延滞利子、及月輪部陵泉監ヨリ補助金
第一項 雑収入	332,666	500,000	-33.2%	167,334	
第二項 繰越金	1,077,494	400,000	169.4%	677,494	昭和三年度繰越金
第六款 繰越金	1,077,494	1,077,494			昭和三年度繰越金
第一項 繰越金	1,077,494	1,077,494			昭和三年度繰越金
第七款 補給金	2,591,255	1,077,494	138.8%	1,513,761	昭和三年度繰越金
第一項 補給金	2,591,255	1,077,494	138.8%	1,513,761	昭和三年度繰越金
合計	28,891,255	28,891,255			

歳出之部

科目	決算額	豫算額	比増	減額	備考
第一款 事務所費	76,065	70,000	8.5%		不足額ハ豫備費ヨリ流用ス
第一項 事務所費	76,065	70,000	8.5%		通信費、消耗品費、山脇氏ノ送別金
第二項 會議費	333,633	300,000	11.1%		評議員會費、組合會費
第二款 工事費	50,467,777	93,000,000	-46.1%	42,532,223	不足額ハ豫備費ヨリ流用ス
第一項 工事費	50,467,777	93,000,000	-46.1%	42,532,223	建物、樹木、其他ノ移轉補償費
第三款 償還金	2,293,033	66,000,000	-96.6%	63,706,967	不足額ハ豫備費ヨリ流用ス
第一項 償還元金	2,293,033	66,000,000	-96.6%	63,706,967	
第二項 利子	3,299,203	6,000,000	-45.1%	2,700,797	
第四款 補償費	6,637,777	5,000,000	32.7%		
第一項 補償費	6,637,777	5,000,000	32.7%		
第五款 豫備費	1,000,000	3,000,000	-66.7%	2,000,000	
第一項 豫備費	1,000,000	3,000,000	-66.7%	2,000,000	
合計	60,333,255	60,333,255			

收支差引金壹萬九千六百拾圓九拾六錢剩餘翌年度へ繰越

昭和八年度豫算書 (第五表)

歳入ノ部

科	項目	豫算額	種目	本年額	前年度額	増比	較減	備考
一、財産収入	一、財産収入	三五二	一、財産収入	三五二	一、二四〇〇〇	100	九、〇〇〇	貯金利子
	二、特別處分地賣却代金	二五〇	二、特別處分地賣却代金	二五〇	一、〇〇〇〇〇	1000	九、九〇〇	
二、徴収金	一、分賦金	一九〇三五	一、本年分賦金	一九〇三五	一四、九九九〇	四、〇六五10		
	二、昭和六年分賦金	一九〇三五	二、昭和六年分賦金	一九〇三五	一四、九九九〇	四、〇六五10		
三、借入金	一、借入金	六、三〇〇	一、借入金	六、三〇〇	一四、九三九七	二〇五三		
	二、特別徴収金	六、三〇〇	二、特別徴収金	六、三〇〇	一、三九四	一、三九四〇〇		紙屋川上流追加工事費ノ一部
四、清算金	一、換地清算金	一	一、換地清算金	一	〇	100		
	二、徴収清算金	一	二、徴収清算金	一	〇	100		
五、雑収入	一、雑収入	一一二	一、雑収入	一一二	五〇四〇	六〇六		
	二、雑給	一一二	二、雑給	一一二	五〇四〇	六〇六		
六、繰越金	一、繰越年度金	一九、六三五	一、繰越年度金	一九、六三五	一〇、七四九四	八、二五〇六		延滞利子督促手数料
	二、繰越年度金	一九、六三五	二、繰越年度金	一九、六三五	一〇、七四九四	八、九〇〇六		
計		一〇五、三三三		一〇五、三三三	一六六、九三五四	八、九〇〇六	六四、三三三	

歳出ノ部

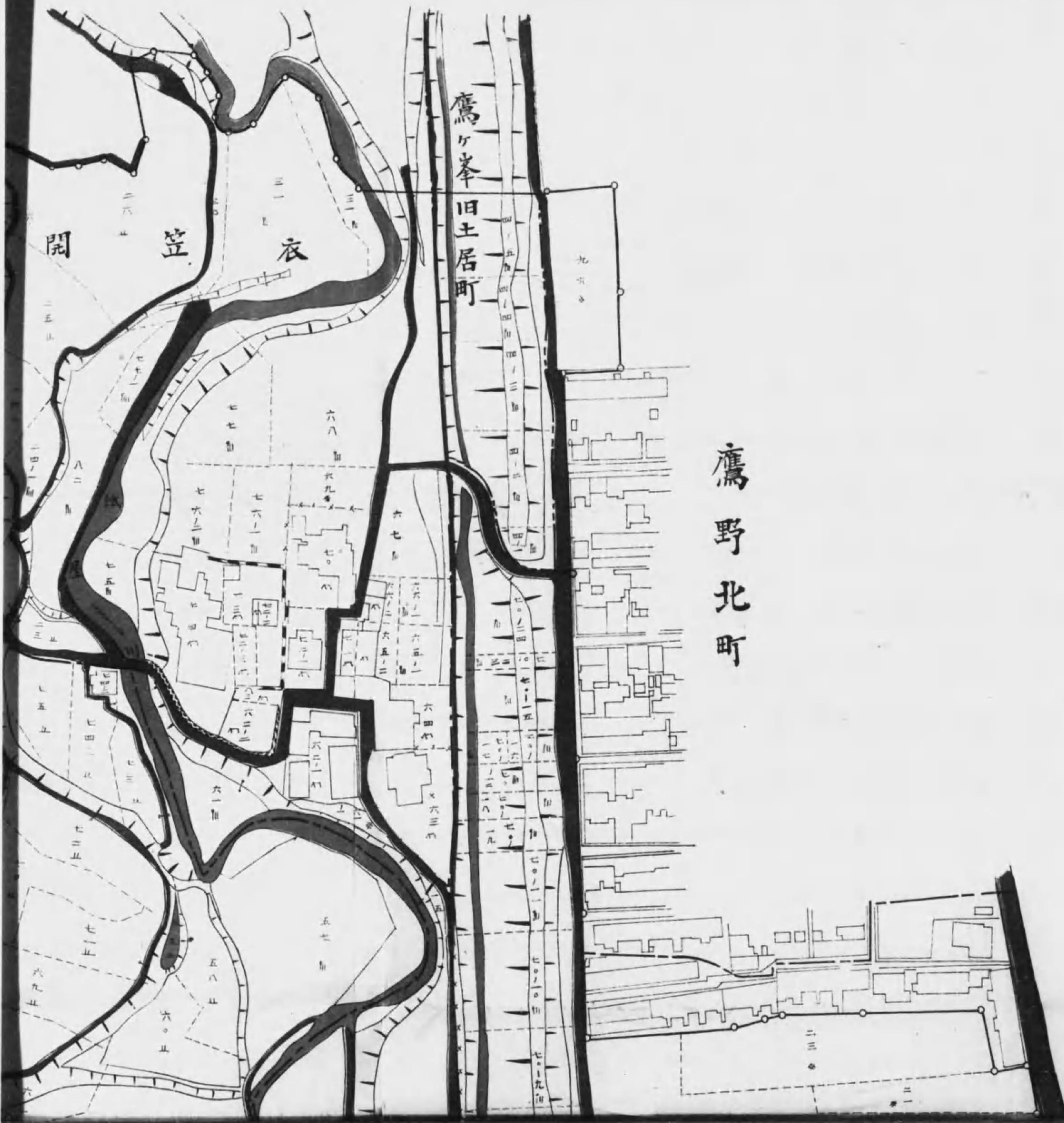
科	項目	豫算額	種目	本年額	前年度額	増比	較減	備考
一、事務費	一、事務費	四〇〇	一、事務費	四〇〇	四〇〇〇〇	100		
	二、會議費	四〇〇	二、會議費	四〇〇	四〇〇〇〇	100		
三、工事費	一、工事費	三九、七三三	一、雜費	三九、七三三	九三、〇〇〇〇	五三、二六七〇		
	二、雜給	三九、七三三	二、雜給	三九、七三三	九三、〇〇〇〇	五三、二六七〇		
四、補償費	一、補償費	三〇〇	一、補償費	三〇〇	五、〇〇〇〇	四、八〇〇〇		
	二、換地清算金	三〇〇	二、換地清算金	三〇〇	五、〇〇〇〇	四、八〇〇〇		
五、清算金	一、換地清算金	一	一、換地清算金	一	一	100		
	二、換地清算金	一	二、換地清算金	一	一	100		
六、借入金還金	一、借入金還金	五四、〇〇〇	一、借入金還金	五四、〇〇〇	六、〇〇〇〇〇	一、〇〇〇〇〇		
	二、借入金還金	五四、〇〇〇	二、借入金還金	五四、〇〇〇	六、〇〇〇〇〇	一、〇〇〇〇〇		
計		一〇五、三三三		一〇五、三三三	一六六、九三五四	八、九〇〇六	六四、三三三	

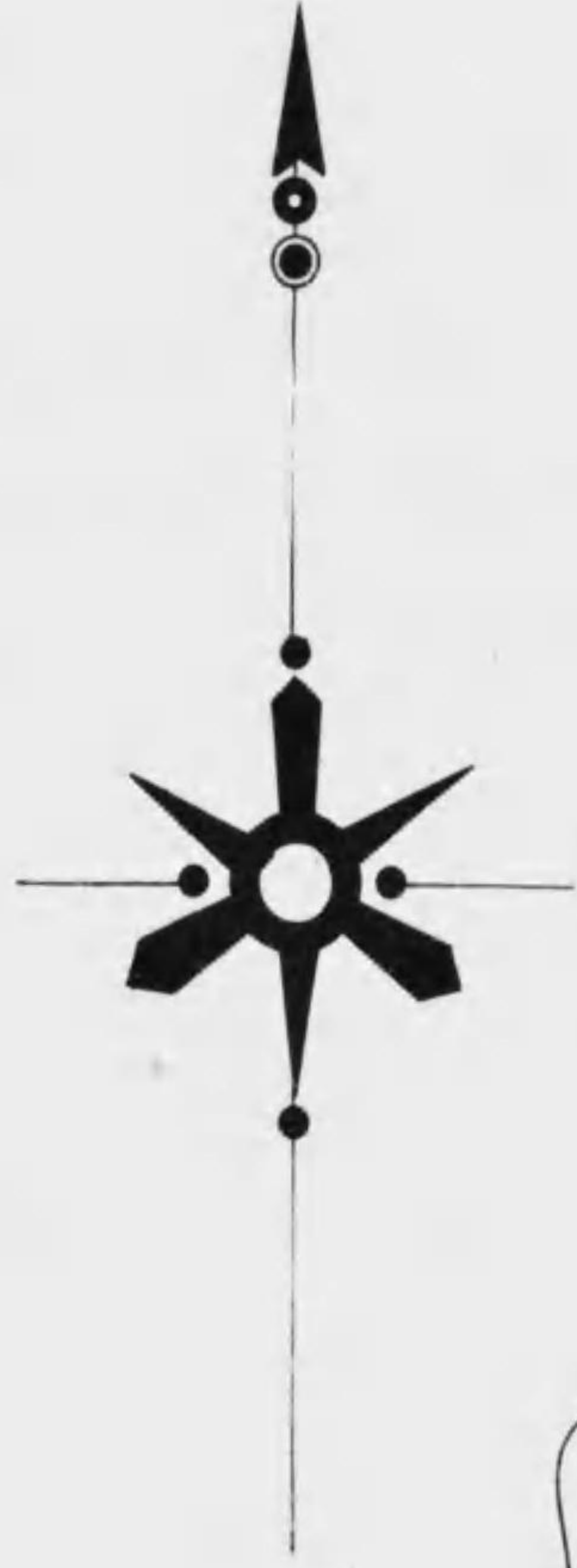
金閣寺土地區劃整理組

縮尺

鷹野北町

鷹ヶ峯
旧土居町





大

北

山

三條天皇御陵
北山

町

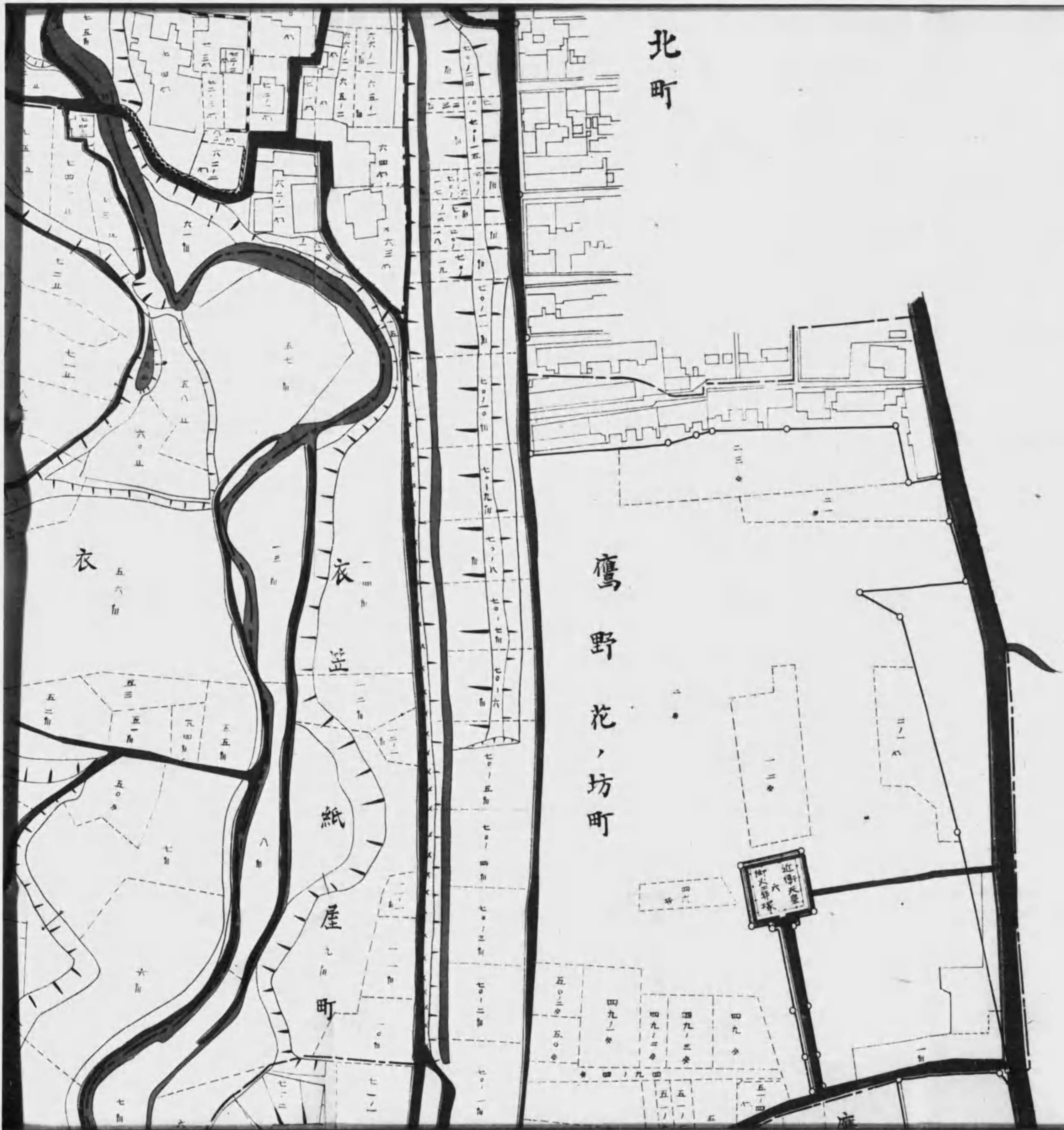
キ

関

地區劃整理組合

縮尺千二百分之壹

施行地及之隣
接スル土地水面ノ理



北町

鷹野花坊町

紙

屋町

衣

笠

衣

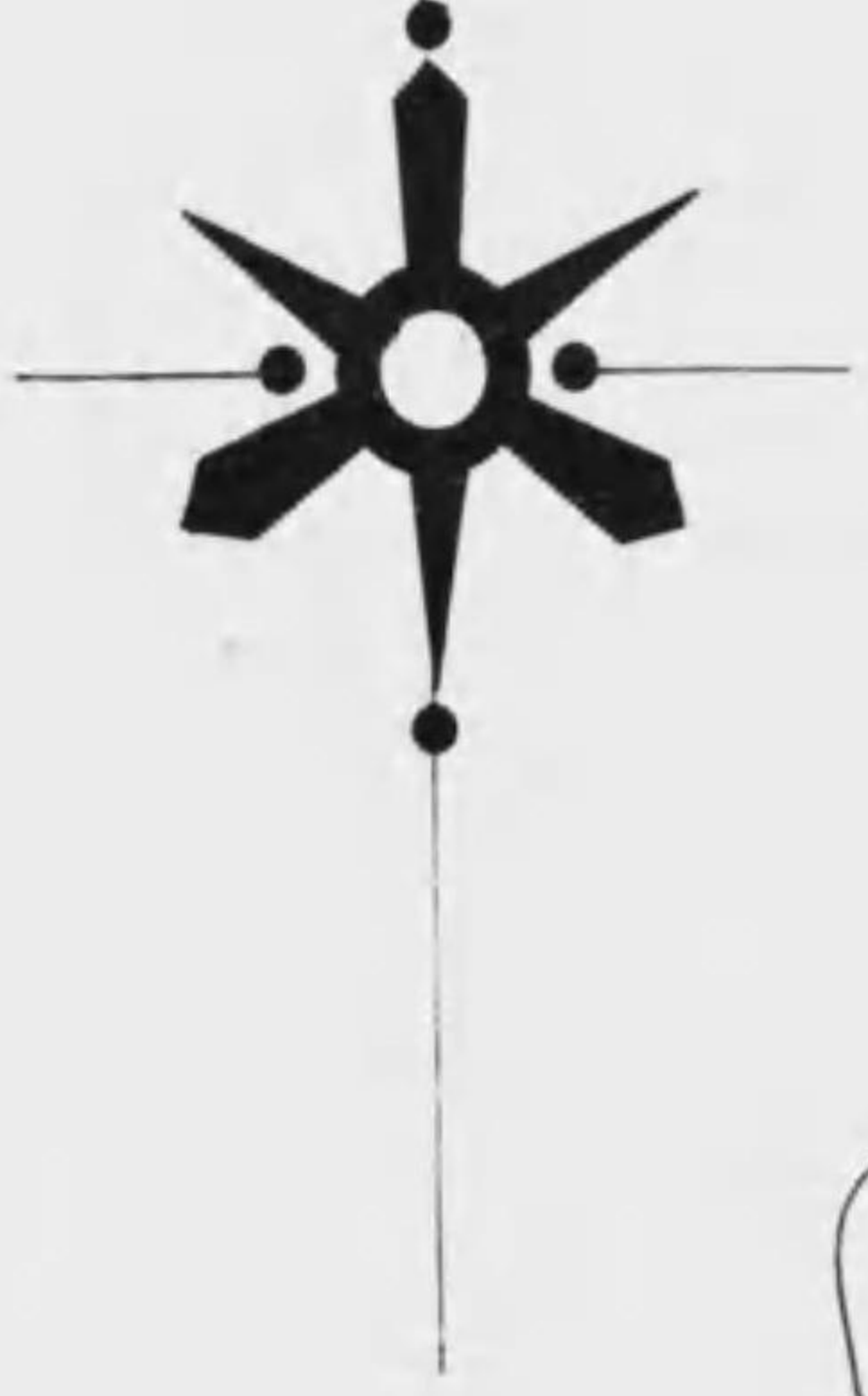
笠

殿

町

三條天皇御陵
北山





山

天皇
山御陵

金閣寺
(鹿苑寺)

金閣寺町

町

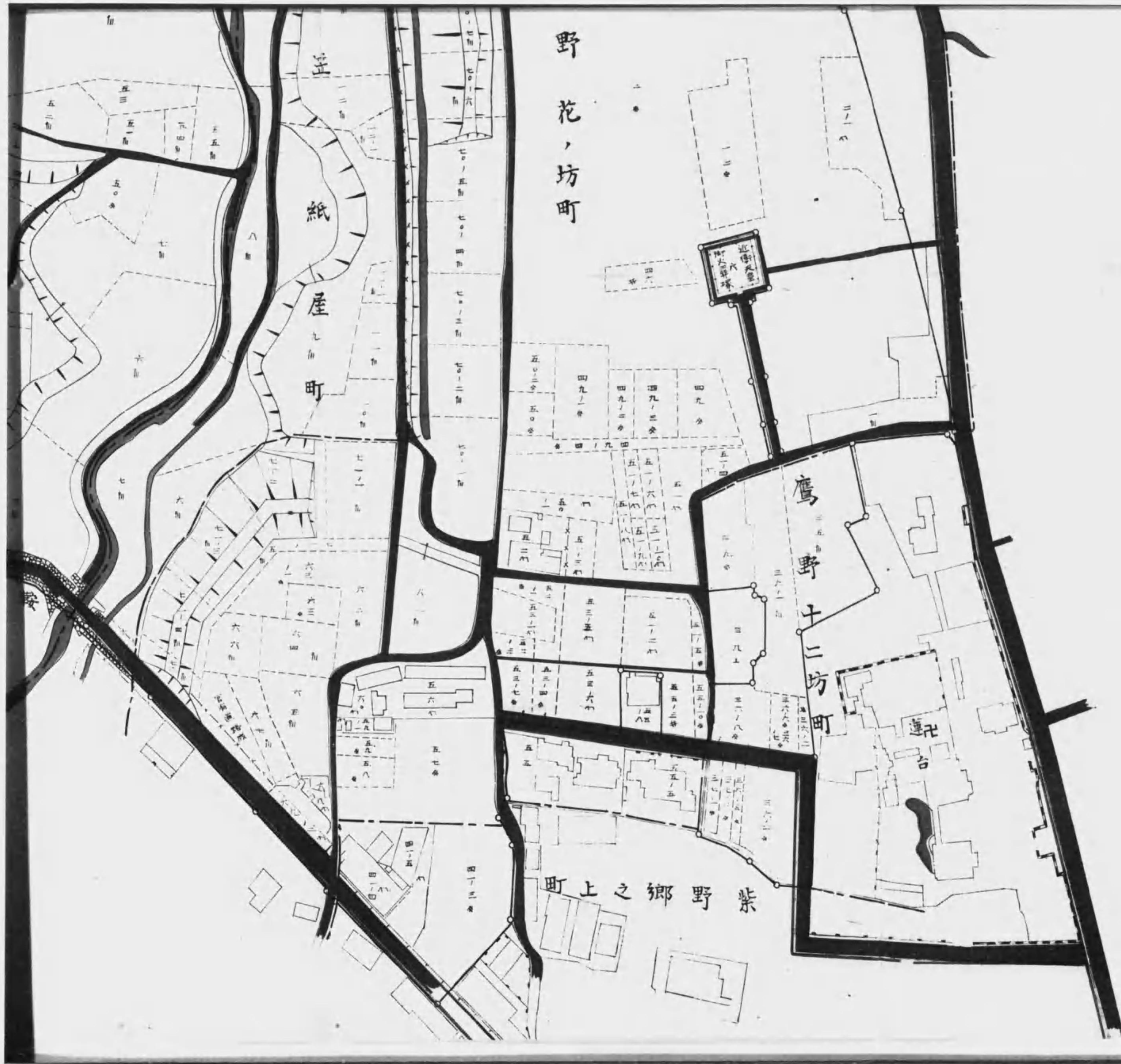
殿

笠

衣



百分之壹
 施行地及之隣
 接スル土地水面ノ現形圖



野
花、坊町

紙
屋九町

道街口馬鞍

町上之郷野紫



凡

		□	上	禾	山	山	※	山	八
道	橋	建	墓	御	原	山	畑	田	宅
路	梁	物	地	陵	野	林			地

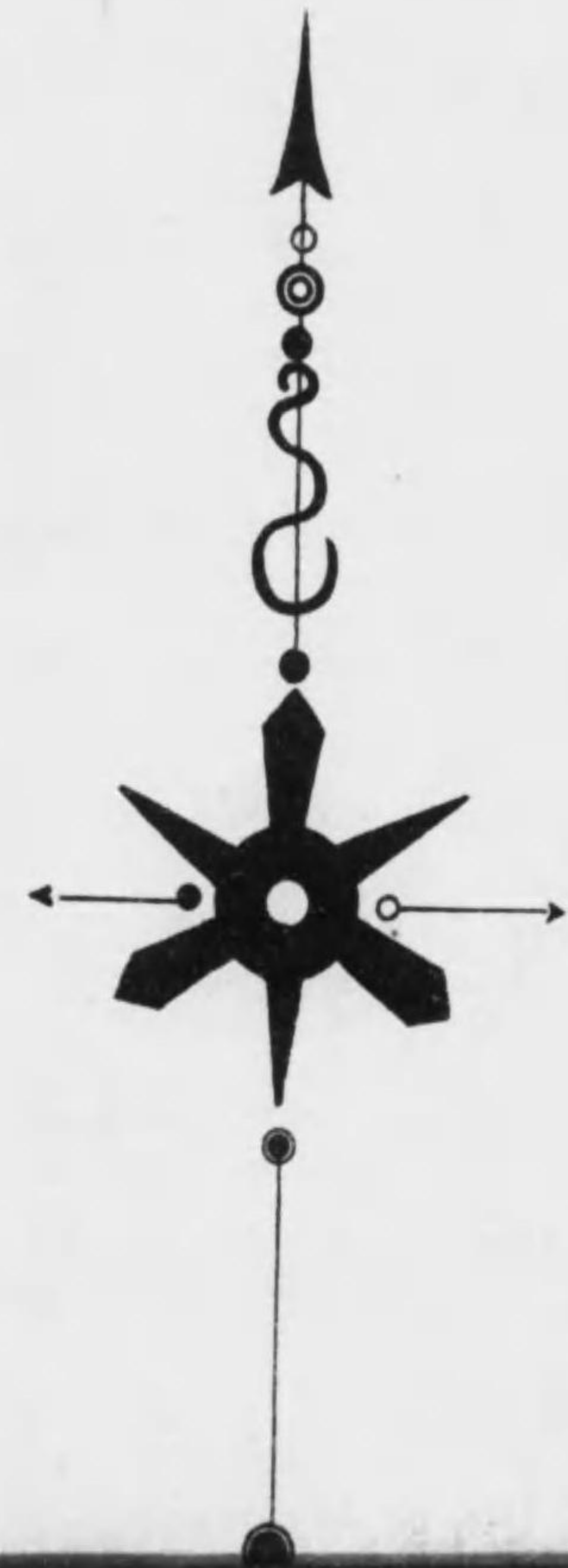
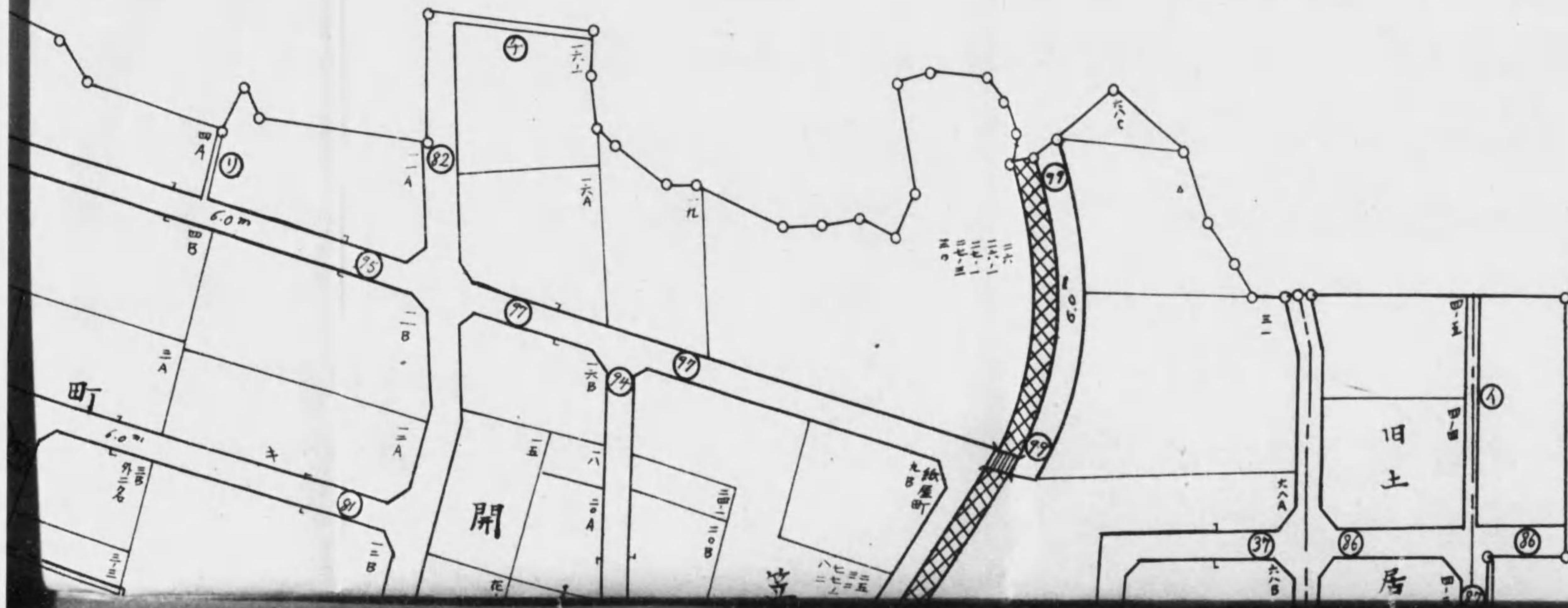


凡 例

除斥地	地区界	町界	市界	地番界	同高線	堤塘	水路	道梁	橋物	建地	墓陵	原野	山林	畑田	宅地

金閣寺土地區劃整理組合地區圖

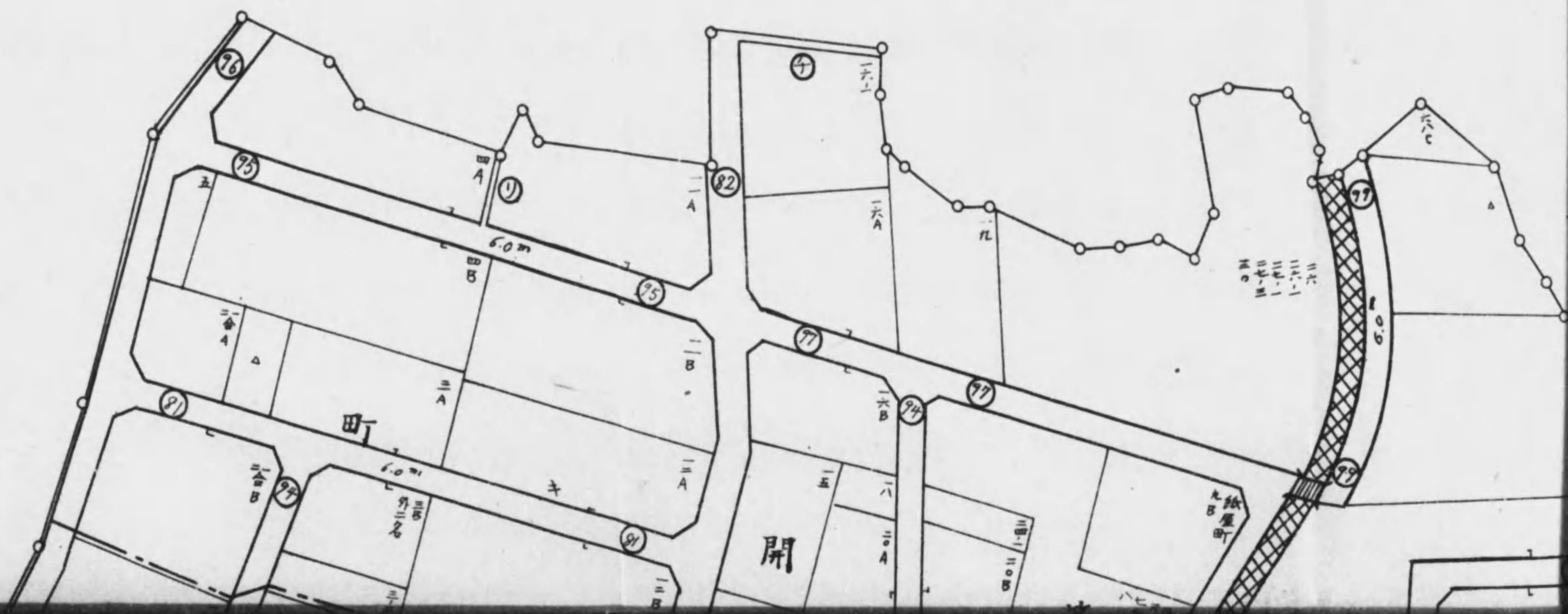
縮尺二千百分之一

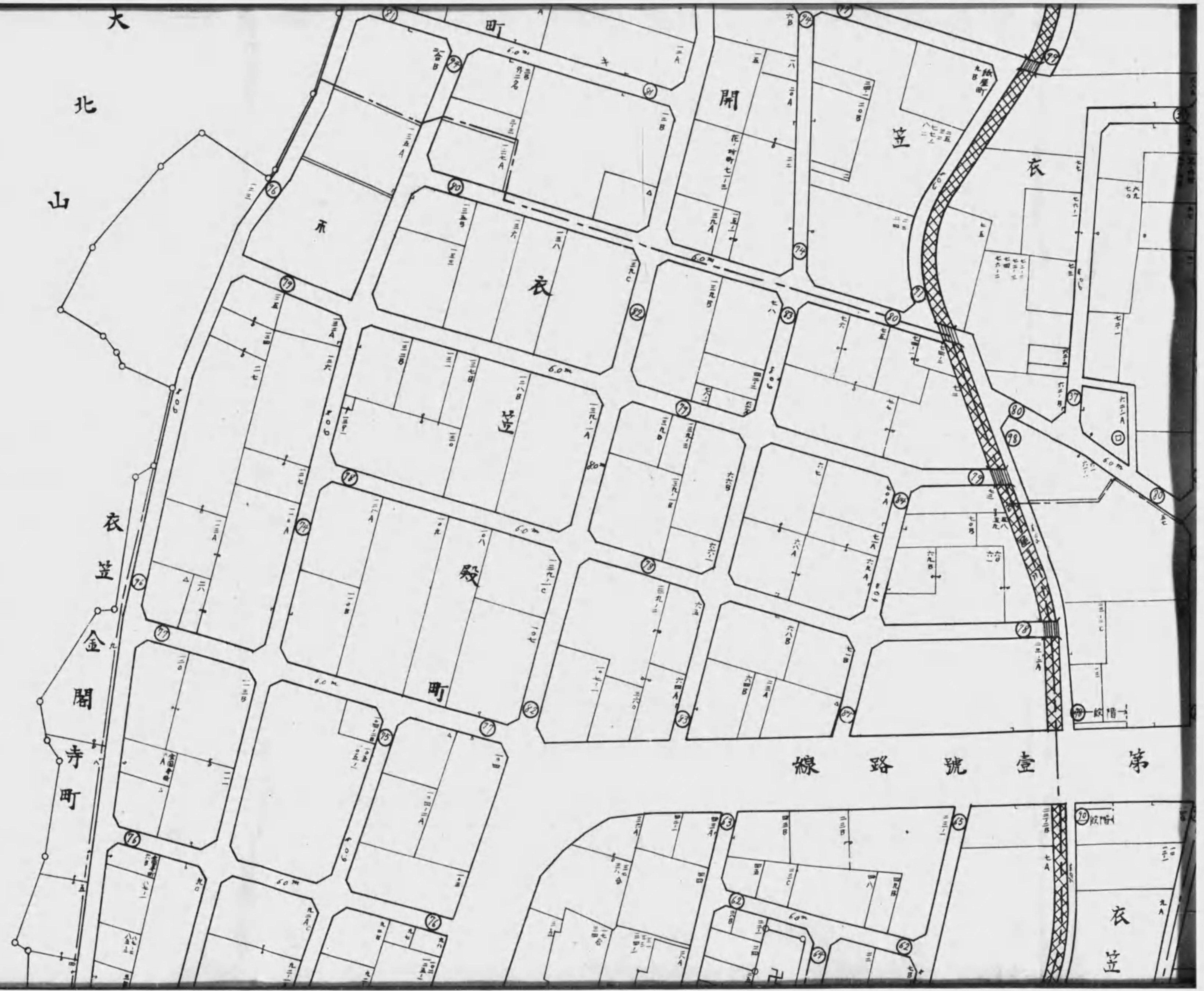


地 區 劃 整 理 組 合 地 區 竣 功 圖

縮 尺 二 千 百 分 一

大
北





大
北
山

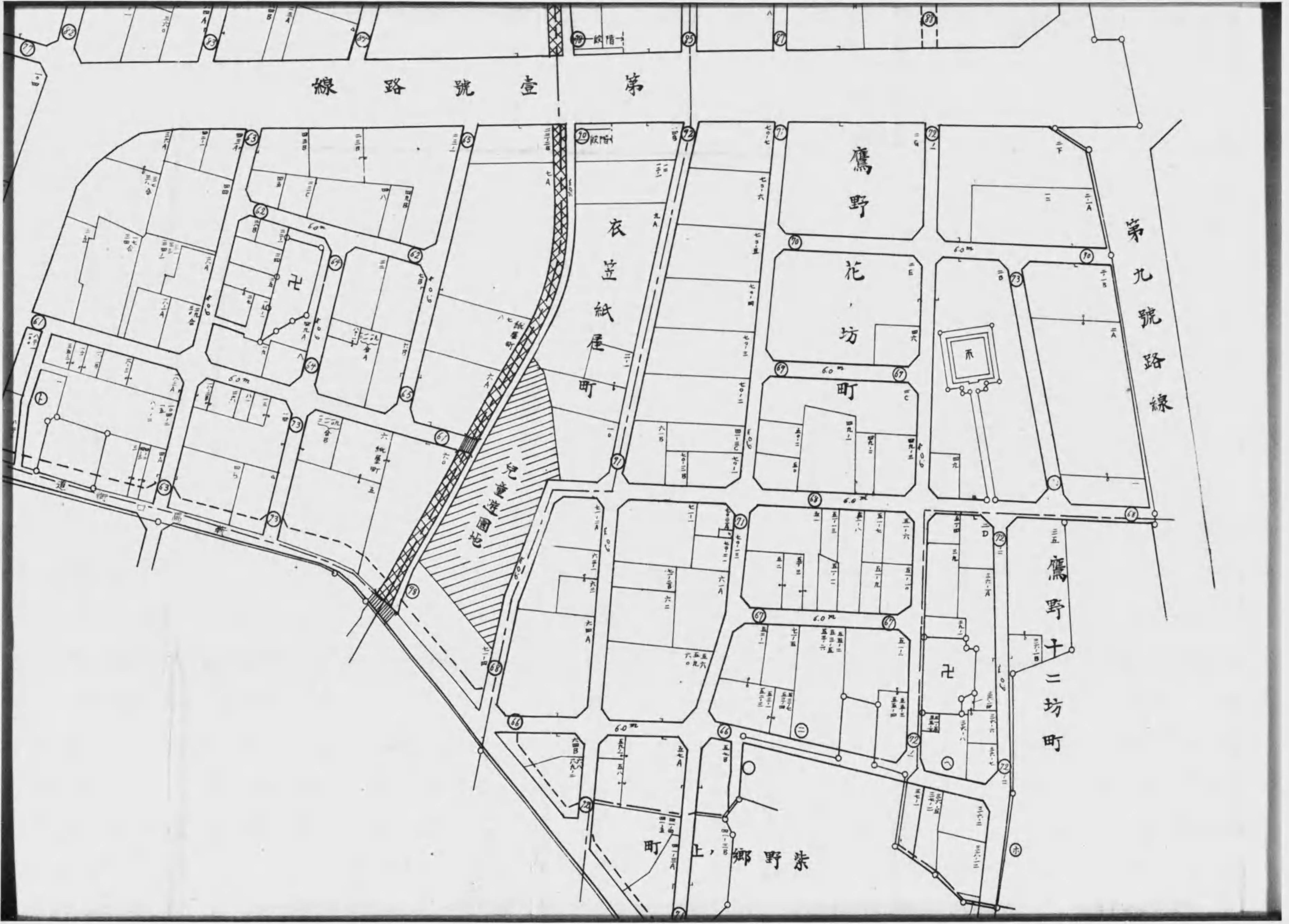
衣
笠
金
閣
寺
町

線 路 號 壹 第

衣
笠

第一號路綫

第九號路綫



鷹野

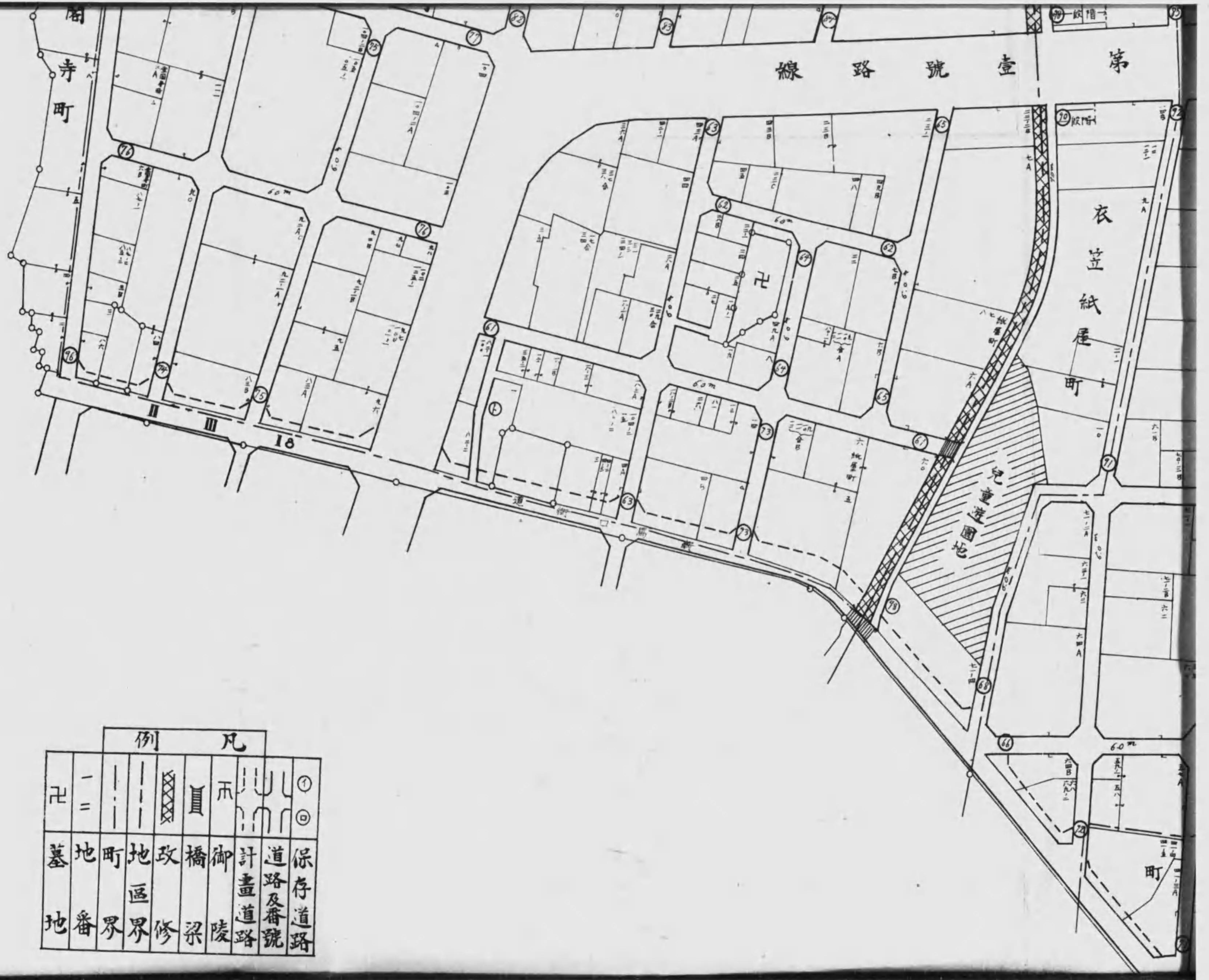
花坊町

衣笠紙屋町

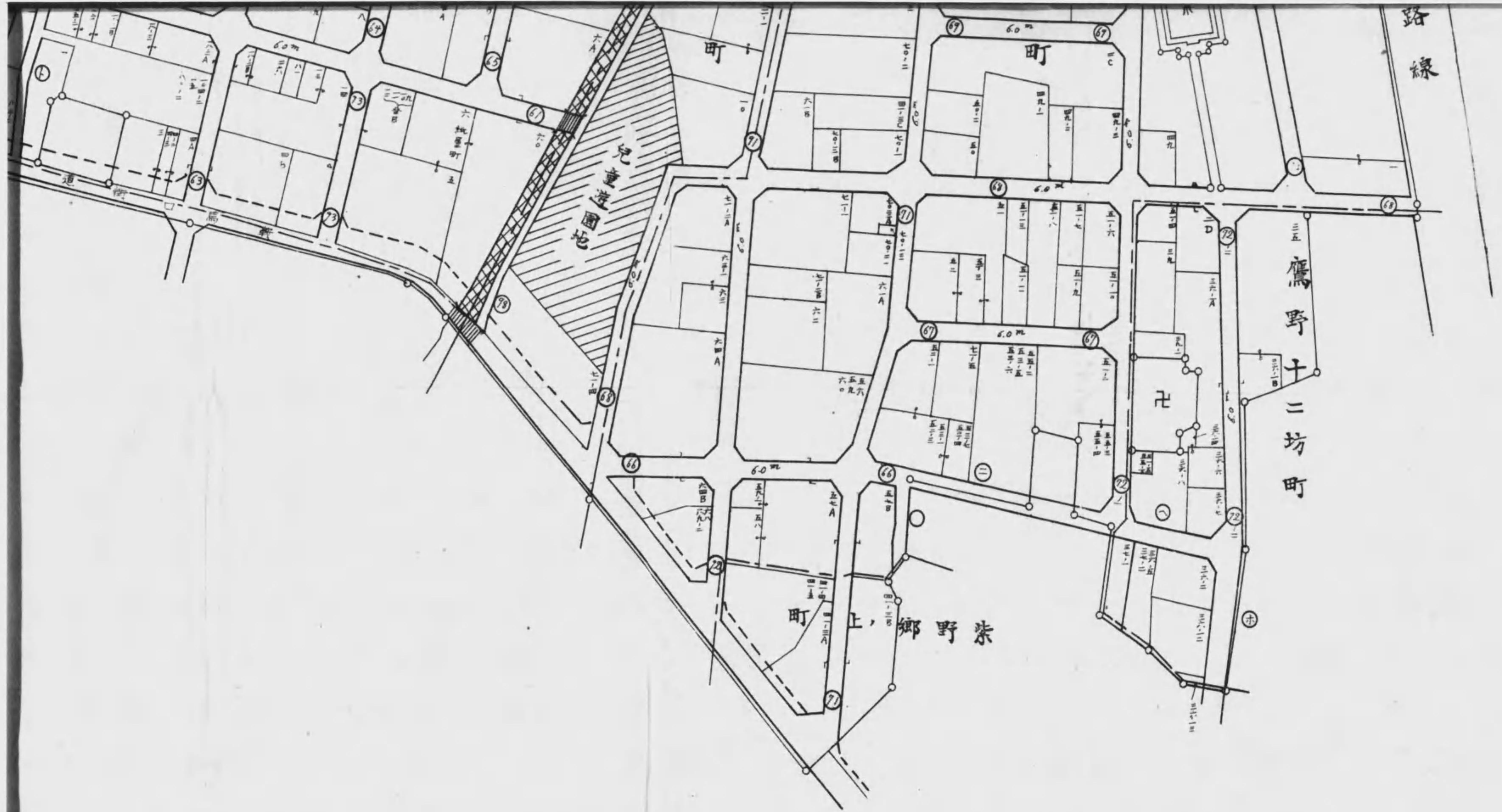
鷹野十二坊町

花園洋行

朱野郷上町



例		凡	
卍	—		⊕
—		⊕	⊙
墓地	町界	政區	橋梁
地番	界	修	御陵
地			計畫
			道路
			及番號
			保存
			道路



昭和九年四月一日 印刷
昭和九年四月十日 發行

〔非賣品〕

編輯兼
發行人 京都市東山區本町十丁目西人
伊藤 庄兵衛

印刷人 京都市東山區四條川端北入
山本 湖舟
電話掛五六〇番

發行所 金閣寺土地區劃整理組合

終

